

議長／皆さんおはようございます。

前日に引き続き、本日の会議を開きます。

それでは、日程に基づきまして、市政事務に対する一般質問を続けます。

それでは7番 上田議員の質問を許可いたします。

御登壇を求めます。

7番 上田議員

上田議員／おはようございます。

ただいま議長より登壇の許可をいただきましたので、これより7番上田雄一の一般質問を始めさせていただきます。

今回も武雄の今後の方向性についてということで通告をさせていただいております。

今回は、大きい項目としてはまちづくりについて行わせていただきますが、中身についてはこのような内容で進めさせていただきたいと思います。

まず、新庁舎開庁についてずっと(?)触れていきたいと思っておりますがようやくこの議場も新しく完成して新しい議員も、そしてまた執行部のほうも新しいメンバーで行うわけでありますので、まず4月21日、落成式が行われました。

オープニングイベントとしては、地元の柄崎太鼓の皆さんにオープニング演奏を行っていただきまして、その後式典に入り、武雄中学校の生徒さんでしたっけ、ですね、司会を務めていただくというような格好で進んでおり、それから小松市長においてこの庁舎の概要の説明が行われたところであります。

それから5月7日に開庁しまして、執務がここからスタートをしたわけであります。

この庁舎がようやくできあがりまして、今、これからいろんなところが改善するところもあるかもわかりません。

先ほどこの開会前にもこの議場でのいろんな設備等々でいろんな話が出ておりましたけど、私自身も今回、まあ年度初めということもありまして、住民票だったり、子どもの、何でしたっけ、子供の手当かな、何やったっけ、手当等々の申請を行ったところではありますが、なにぶん、まだまだこれまでの庁舎の、旧庁舎での話がいろいろとあったわけでありまして、今回この庁舎が新しくなることになってさまざまなもっと改善すべき点ば、これまで、IT行政推進特別委員会の皆さんを中心にさまざまな議論が行われておりますけれども、昨日の通告、質問を、すみません、私ちょっと聞きそびれてしまいましたけど、いろんな、母子手帳だったりとか子供の医療費の受給資格証だったりとか、そういうのもこれからいろんなアプリを使ってできるんじゃないかなと思うわけです。

結局今回その住民票を申請する上に当たっても結局はこれまでと同じようなペーパーを記入をして申請をするというふうになっておりまして、もうちょっとそこもIT化も進められる

んじゃないかなと。

さらには支払い業務もいろんな、スマートフォン等での支払い等々もできますし、これからもっともっとITを進めていく武雄市の可能性としてはあるんじゃないかなと思っており、これから議会のほうでもまたIT行政推進特別委員会の皆さんの御活躍を期待したいところでもあります。

それではまずその庁舎について、今回その私、一番多いのが、職員の皆さんがとにかく狭い狭い***というのはよく耳にするわけであります。

フロアによっての差も大いにある、感じているわけでありますけれども、現在、これまではもちろん図面上でさまざまなシミュレーション等を進められてきておりますけれども、実際今回この庁舎が建って現実とどう違ってきているか、そこら辺さまざまな声があるんじゃないかなと思いますけど、市民の皆さん、そして職員の皆さんのこう、声をどのように吸い上げられているのかをお伺いしたいと思います。

議長／水町総務部長

水町総務部長／おはようございます。

まず、職員数が全体的に想定よりふえたということが挙げられます。

庁舎外施設から集約を行ったわけですが、その見込みの数に差異があったということもございます。

それから、特に1、2階フロアに人員配置が多くなりました。

窓口のワンストップ化を実現するためには、どうしても関連部署を1フロアに、ワンフロアに集めて配置する必要がありましたので、当初の想定よりも窮屈な状態となっているものがございます。

職員の声、それから市民の皆さん方の声をですね、お聞きしながら今後も改善をしてまいります。現在といたしましては、できるだけ可能な範囲の中でデスク間の調整を行っているところでございます。

議長／7番 上田議員

上田議員／いろんな、人の想定がちょっと違ったというような話ではありましたが、やはりいろんな、これから改善するべきところは改善をしていただきながら、よりよいものにみんなで作っていただければと思います。

今回、新庁舎になってワンストップということで、住民の皆さんが庁舎にお越しになったときに、これまで住民の申請に来られた方がずっと窓口を転々とされていたのが、今回もう職

員さんのほうで行われている、住民の方は申請に来た後はもう椅子に座って待っていただいて対応しているということで、それはそれで本当にいいことをやられていると思うわけですが、やはりITを進めていかないことには職員さんがどンドンどンドンあっち行きこっち行きってというような格好になるわけですので、やはりもっともこのITを使って、要はもうデータで庁内が管理どンドン飛んでいって、必要なものがすべてそこで各課から全部集めるというような格好の仕組みをぜひ実現していただきたいなと思っております。

それでは、次にいきますけれども、5月12日開庁記念イベントが行われました。

もうこの場での質問でも出ておりますけれども、竿燈まつりであります。

秋田竿燈まつり、ほんとにすごいにぎわいでした。

私もこちらで生まれ育ったものとして、この道がこんだけ人間がいて、もう私も鳥肌がたつというか何というかですね、もうすごいものだなと思ったわけです。

ここの道が、生まれて育ったまちでしたけど、ここの道が通行どめになったのはほとんど記憶がなくて、何かこの画像が、私、この写真が一番、自分で撮ったんですけど、一番好きな写真で、もう本当に武雄の底力を感じた1日だったんです。

もう本当にこれは担当の課の職員の皆さん、課長さんを中心にでしたか、本当に素晴らしい企画、そして運営をやっていただいたんじゃないかなと思っております。

武雄温泉の春祭りにこんだけの御来場者がお越しいただければ裸神輿も本当に盛り上がるんじゃないかなと思いつつ、うらやましいなと思いつつ見てたところですけども、今回昨日の答弁にもありました経済効果という質問があったときに、経済効果が5億円という答弁があったと思うんですね。

すみません、私のちょっと多分聞き間違いだと思うんですけど、その宣伝効果を4,500万というふうに答弁をされたと思うんです。

合計すると9億円というような話があったような感じがしたので、ちょっとそこも私の計算がおかしいのかなと思いつつ聞き及んでいたんですけど、それとあわせて主催者発表が8万人と。

一番最初に私見たのは、この何か、議場にいる議員のフェイスブックを見て、ああ、8万だったんだと思いつつ見ていたんですけど、この8万、本来私たちその、まあ仕事上いろんな集会等々で何人来たっていう発表をしないといけない場合に、私たち本当に一人ずつずつと数ば数えるわけですよね。

それとかもう多かったらあいている席を数えて立ち見の数をプラスマイナスしたりってやってるんですけど8万となるとさすがにどういうふうにこれ数えるんだろうなって思いつつ。この8万というのはどういう算出方法をもって8万なのか。

私個人的に8万もいたなという話ではありません。

逆に佐賀新聞の有明所にあったようにあれは8万ではきかんやっつとやろうってというような

感覚が、むしろそっちなんですけど、ぜひちょっとまずこれをお伺いしたいと思います。

議長／神宮営業部長

神宮営業部長／おはようございます。

まず最初に経済効果のほうから御答弁申し上げたいと思います。

8万人の来場がございまして、観光消費額に換算いたしますと約5億円ということでございます。

新聞、テレビ、雑誌等のメディアに対する広告効果を計算して把握している分が約4,500万、この2つをあわせまして経済波及効果という係数を出す算式がございまして、それに当てはめると最終的に約9億円ということで経済効果は9億円と言った次第でございます。もう一点の8万人の算出根拠はということでございますけど、当初は演技会場の全長約900メートルだから来客数3万人程度の想定をして計画書を策定をしておりました。

当日は天候もよく、昼間からの各会場でのにぎわいや対流者増加の勢い、それから竿燈演技本番の見物客の列と人のたまり具合、演技会場以外の場所、例えば川端通りとかでの人の混み具合等すべてが想定を超える***であったため、最終的に当初想定人数の2.5倍超の8万人として発表したところでございます。

なお、さっき議員おっしゃったとおり、5月14日付の佐賀新聞では8万人と発表していたがそれ以上はなかと***いただいたことで嬉しい限りでございます。

しかしながらこのように想定を超える来場者があつたにもかかわらず1件の事故もなく終わったことに感謝申し上げる次第でございます。

議長／7番 上田議員

上田議員／なるほどですね。

5億円足す4,500万とそれに、それをもとに9億円っていうことですね。

私5億円と4,500万そのまま足したら5億4,500万が何でここ9億になるとかなって、すみません、頭が悪くて。

算出根拠今いただきました。

ほんとに、このにぎわい、武雄のまちが活気づいたことで嬉しい限りだったんですけど、今回竿燈まつりで、今回私質問しようとしてたんです。

秋田からあんだけの人が来ていただいて、武雄から行かなくていいんですかというようなところを質問しようとしたら、今回上がっていますのでもうそれはもちろんしませんけど、一番市民の皆さんから多いのは今度いつすつとる(?)っていうのが一番聞かれるんですよ。

これは毎年でもしてほしかってという人ももちろんいます。

これでも(?)5年ごとか10年ごとかこう、間隔をつくってでも次いつくってなぎ、もう私たちはそれ待っと一とがわくわくするっていう声もいっぱいいただいたんですね。

すみません、それは私もちよっと答えきらんですっていうことで、今度質問ばしますって、市長のどういう考えなのか聞いてみたいと思いますっていうことで言っていますので、ちょっとここら辺を市長の考え、思いをお伺いしたいと思います。

議長／小松市長

小松市長／おはようございます。

今回秋田竿燈まつりは2年前から誘致を行ってしまして、まさに明治150年の節目の年に何とか来てもらえないかということで実現をしたということでございます。

私も同じような声をいただいています、次はじゃあ25年後かという話もよく言われるんですけども、個人的な思いとしてはやはり25年後といわず、それよりも早くもう一回来てほしいなというふうに思っているところであります。

そのためにはこれまで市民レベルで続いてきた秋田との交流、これをさらに交流を太くしてそして深くしていくというところがまずもって大事だというふうに思っておりますので、私としてはやっぱり、もう一回やっぱり見てみたいという気持ちがある。

そのためにも、やはり秋田との交流、まずはこれをしっかりと強めていく、ここを大事にしていきたいと思っております。

議長／7番 上田議員

上田議員／結局、じゃあいつってというのは、まあ25年後まではいきたくないよと、まあなるべく早い段階で来てほしいなっていうことが思いだと今私は感じたところです。

今回のこの秋田竿燈まつりは、私、歓迎レセプションで担ぎ手の皆さんと物すごくみんな仲良くなったんです。

一緒に酒を酌み交わしながら。

いろんな話を聞いたらこの竿燈のこのちょうちんが秋田の本場の竿燈まつりだと300本くらいこれがあがるらしいですね。

これがいろんな各地区地区の団体で1本で、だからここに書いてある漢字はその地区の名前を一字とったような感じで書いてあるという話を伺いました。

要するにこう、武雄でも武雄の武の字でも雄の字でもつくって、武雄で竿燈を1本こう、竿燈担ぎ隊をつくってもおもしろそうだなと思いつつ、まあそれをどうこう言うわけではあ

りませんが、ぜひそういうのも考えてほしいなと思います。

本当にこの秋田竿燈まつりに関わられた、本当に観光課の皆さんを中心にした、関わられた方すべてに本当に感謝したいと思います。

それでは今回この庁舎ができたことによってこれからの、これまでの旧庁舎の跡地の活用についてであります。

これまでもこの議場でも質問をたくさんさせていただきましたけど、これが旧庁舎の敷地の航空写真であります。

毎回毎回この話もさせてはいただいておりますけど、今回ちょっとお伺いしたいのは、恐らく今回のこの庁舎ができたのはこの旧庁舎、旧庁舎の耐震で結局耐震補強か、移転再築か、現地再築かの3択で今回ここに移転新築というふうな結論に至ったわけでありますので、もちろんこの旧庁舎はこれから解体をされると思います。

ただ、この旧庁舎の解体に伴ってここら辺の部分が私もちょうと把握してなくて、ここにちょうど、敷地のちょうど中心部に今もまだありますけど、車庫等々もありますよね。

それからここにまず電算センターといいますか、杵藤地区広域市町村圏組合庁舎等々もあります。

ここに車庫、屋根つきの車庫も1個、あれ車庫ですよ。

そこら辺もあって、このこれからの解体をまずどのようにこれが解体進むのか、答弁をお願いしたいと思います。

議長／水町総務部長

水町総務部長／旧庁舎につきましては、解体をして一旦駐車場として整備することを既に報告をさせていただいているところでございますが、議員御質問の倉庫等、車庫等、これについても解体を同時に行います。

それから電算センター横の駐車場につきましては、これまでどおり職員駐車場として使用いたします。

議長／7番 上田議員

上田議員／この倉庫、車庫も一緒に解体をするということですね。

ここにそしたらもう1個、道が入っているんですけど、この道はこのまま生かしていくわけですか。

議長／水町総務部長

水町総務部長／旧庁舎と第3駐車場に挟まれております市道についても一旦廃止ということも検討すべきだというふうに認識をしております。

議長／7番 上田議員

上田議員／ここに1本道が入っている部分も、廃止を含めて検討していくということですね。そしたら結局解体が終わった後の駐車場整備というのは一旦駐車場にするといいながらも、これが全部駐車場になるわけです。

今後の活用を、私も今回の自分の選挙を通してたくさんの市民の皆さん、特に中心部の皆さんからの声を聞いたんですけど、やはりここは武雄の一丁目一番地の土地なんですよ。まとまったところでもあります。

私はここに人が集まる仕組みをしないといけないと思うわけでありまして、一旦ここを駐車場で仮舗装をするという報告を委員会の中でもいただいておりましたが、やはり仮舗装と普通の本舗装って、私たちも全然見分けもつかんぐらいなんですよ。

一旦舗装してしまうと、せっかく舗装したところばまた堀りよんさあよというような話も、いろんなところで出てきたりもするので、私もここをぜひ人が集まる仕組みをつくっていかんといかんと思うわけです。

今回、選挙戦を通じてもいいアイデアをいただいたんですけど、やはりこの土地に高齢者の皆さんが住んでいける、今いろいろ高齢者の皆さんの免許の返納制度等々いろいろあるじゃないですか。

でも今、免許を返納しても武雄では車がないとなかなか生活がしづらいという声がたくさんあるわけです。

ですので、やはりここに、武雄市の中心部に高齢者の皆さんが住んで、買い物が北部商店街でもできるように、観光客だけではなくて、もう本当に地元の皆さんが歩いて行けるような仕組みづくりを、本当に中心部には、今後こんだけの広大な土地はもう出てこないと思うわけでありまして、ぜひそこを考えていただきたいと思うわけです。

それも含めて、今後の跡地活用の進め方、検討の進め方をお伺いしたいと思います。

議長／水町総務部長

水町総務部長／新庁舎がオープンをいたしまして、新庁舎の駐車場不足といった声も寄せられている中で、これから、この庁舎一帯の駐車場確保の必要性や、そうした場合の駐車場の管理の方法、あるいは中央公園との機能連携、市街地の活性化など、さまざまな条件を整理

して具体案につなげてまいりたいと思います。

議長／7番 上田議員

上田議員／今回市民の皆さんの意見の中では、駐車場が必要であるのであれば、この敷地の一部のところに立体駐車場をつくって、それを有料にすればいいじゃないかというような話もいただいたんで、なるほどそうだなと、いろいろ検討の余地もあるんじゃないかなと思ったわけであります。

ぜひ、本当にこれ武雄の一丁目一番地、皆さんが集まるような仕組みづくりを考えないと、北部商店街、また飲食店街も活性化につながっていかないとしますので、ぜひそこら辺を考えていただきたいと思ひまして、次の質問に移りたいと思います。

スポーツ施設整備計画については、さきの改選前の3月議会において質問をさせていただきました。

これまで総合運動公園とした一体的な施設でのスポーツ施設を考えていくのか、それとも各競技ごとに、さまざまな場所へ独立した構想を持っていくのか、このときの質問の答弁としては、これからこれもあわせて考えていくというような答弁でありました。

恐らくもうこれについては、費用対効果を鑑みて今後計画を、どのように行っていくかという答弁が出てくるだけだろうと思いますので、今回これはちょっと置いておきますけど、これも市民の皆さんからたくさん声をいただいたんですけど、パークゴルフですね。

特に高齢者の皆さんが生きがいづくりとしても本当に、これ北海道で生まれたらいいですね、パークゴルフというのは。

既にもう全国に120万人以上の会員さんがいらっしゃるということを伺いました。

今回この公認コース、これまで武雄では見えないと思います。

公認コースは武雄にはありません。

佐賀県の、あそこは富士町にあるわけですけど、九州の公認コース、沖縄を除けばこれだけの数があるわけですけど、佐賀市はこの神水川パークゴルフ場が公認としては認められているのは一つだけであります。

これもちょっと見えづらいと思いますので、どんどん先に進みますけど、この神水川パークゴルフ場はコースが全部で5コースあって、45ホール、これが初心者から中級者、上級者までさまざまなコースを設置されているわけであります。

佐賀県内にはほかにも唐津のほうに桜ヶ丘パークゴルフ場というのがありまして、これが全部で18ホール設置されておりまして、白石のほうにも設置がされておるわけです。

でも公認コースではありません。

武雄のほうにも***のほうにできる場所がありますけれども、この今回、山内にもあつ

たパークゴルフ場がもう***ですね。

ですので、これまで一生懸命、山内のほうも使ってやられていた方がもう行き先もなくなって本当に何か困ってられる話を伺ったわけです。

これは高齢者の皆さんは平日だろうが何だろうがパークゴルフの大会のあるときは行くものというような話もいただいたりするわけでありまして、この武雄の、観光のまちの武雄に公認コースを望む声が非常にたくさんあるんだ、こんなに多くあるんだなと思うのがあって、ぜひそのパークゴルフの公認コース設置を望む声がたくさんありますので、そこをどう考えられているか、答弁をお願いしたいと思います。

議長／山口こども教育部理事

山口こども教育部理事／おはようございます。

一生涯にわたって、誰もが気軽に楽しむことのできるスポーツとしてパークゴルフが楽しまれております。

まずは議員の御提案の公認コースの新設についての可能性について、各方面から話を伺いながら調査をすることとしたいと考えております。

議長／7番 上田議員

上田議員／いいと思います。

ありがとうございます。

調査をして、検討ばして行って、検討をするっちゅうのはしないちゅうことになるけん、調査をしていただいて、一緒に調査をしていきましょうよ。

この声が本当にたくさん、武雄市民の皆さんに声がたくさんありますので、一步ずつでも前に進められるように、ぜひ手と手を取って、議会と一緒に、執行部と一緒にやっていきたいなと思っております。

それでは次に、新幹線についてに移りたいと思います。

知事、フル規格違和感と、がっかりですね。

山口知事は県議会の冒頭で、県の財政運営に大きく影響する莫大な費用を伴うもので県民のために取り組んでいる施策に多大な影響があると強調したという記事があります。

これは国交省のデータを拝借したものでありますけども、新大阪駅を中心に、もちろんこっち西からは山陽新幹線が入っておりますけども、新大阪より東のほうに行けばもうリニアの話ですよ。

今、与党P Tで西田先生が座長になられているという情報をちょっとつかんだんですけど、

そこら辺も北陸新幹線の敦賀ルートの新大阪駅のこのルートをもう、恐らくどんだん前に進んでいくと思います。

佐賀はもう完全に乗りおくらせていくんじゃないかという危機感を覚えているわけであります。ここで、これまでのいろいろ情報を踏まえて、武雄はやはり、これまで小松市長がハブ都市構想化を目指しているこの武雄のまちで、改めて市長の考えをお伺いしたいと思います。

フルなのかミニなのか、フリーゲージなのか。

フリーゲージはもう、恐らくもう無理だとは思いますが、そこら辺を踏まえて答弁を願いたいと思います。

議長／小松市長

小松市長／先日、大阪府の泉佐野市に行ったんですけども、武雄温泉駅を朝7時台の電車に乗って行きました。

やはり乗りかえがあると遠いなという感じがして、これが一本でつながっていると大阪の方から見ても非常に心理的な距離も近いだろうなというふうに感じたところです。

まさに議員おっしゃるとおり、今後リニアが進んで、東京名古屋が40分、そしていずれは東京大阪が67分で結ばれると、いわば巨大な経済圏ができる中で西日本は置いていかれるんじゃないかという、私はそういうふうな危惧をしております。

しっかりと一本の筋を通して、そして西日本の経済圏をつくる。

あとはやはり観光という点が大事ですので、関西圏からの集客を図る、そしてまたインバウンドにも対応する、そういった意味では、私はやはり従来申し上げておりますフル規格というのでないとそれは達成できない。

ミニ新幹線は秋田、山形の状況を見ていても、私は中途半端だというふうに感じております。

議長／7番 上田議員

上田議員／ありがとうございます。

今回テレビで、佐賀テレビが報道をしていたのを、写メなんですけど、フリーゲージトレイン、国交省の試算で建設費1400億、年間収支約20億円の赤字。

ミニだと建設費2600億、年間収支約2億黒字。

フル規格だと建設費6000億円かかりますけど、年間収支約88億円の黒字という試算が、国交省から出たのを報道がされているわけです。

今回、国交省からのデータを見ますと、ちょっと見づらいという話でしたのでちょっと大きくしました。

よかでしょうか。

そしたら、国交省の文を見やすくして、ちょっと私が打ちかえましたので、これと、これは間違いはないと踏んではおりますけど、もし万が一間違いがあったらごめんなさい。

ここで注目していただきたいのが、これまで佐賀県のスタンスであったのはフリーゲージによる山陽新幹線の乗り入れが条件だという話があったわけですよ。

でもこれ、国交省のホームページですよ、これ。

ここに、小さいほうで間違いなくなしと書いてあるわけです。

山陽新幹線への乗り入れはフリーゲージはもうなしと、はっきりここになっているわけです。もちろんその注釈には、ちょっと小さい字で書いてはあるんですけど、もう運営主体であるJRが無理だというような話をしているので、というようなことが書いてあったと思うんです。

すみません、どこにいったかわからないんですけど。

ミニ新幹線だと山陽新幹線乗り入れあり、フルでもあり、もちろん。

ここで、佐賀県が最初に話をしていた6者合意がもう完全に崩れているわけですよ。

完全に崩れている。

さらに、この改良見込み、先ほどのテレビの写メを3つ出しましたけど、フリーゲージだと31年度着工条件でおよそ9年後の39年度開業見込みと。

31年度着工なんか恐らく無理だと思うんです、来年度なんて。

ミニだと35年度着工条件として、ここに小さく書いてあったんですけど、44年、48年、フクセンサンセンキ(?)だと48年度という試算になっています。

フルだと、35年度着工で、約12年ですね。

ここでまた問題なのは、ミニ新幹線でいけば現在の線路を工事をしないといけないので、そこにバスの代替だとか何とかいうのがどんどんその注釈に書いてあったわけですよ。注釈、別のページだったですかね。

もうとにかく県と、県が言ってることと現実と、全く私は整合性がとれてなくなったんじゃないかなと思うわけです。

ちょっとここら辺をまずお伺いをしたいと思います。

市の見解を。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／おはようございます。

議員御指摘のとおり、ミニ新幹線とフル規格ともに、町負担、それから投資効果等の諸問題がございます。

速達性、安全性、転移性にすぐれ、広域交流の人口の拡大という効果を発揮できるのはフル規格での整備だと存じて（？）おります。

以上でございます。

議長／7番 上田議員

上田議員／そうなんですよ。

ミニ新幹線もいろんな不具合も報告をされておるわけでもんね。

ちょっともう一回、別の視点から行きますけれども、費用負担の面ですよ。

これもちょっと見にくいので大きく***出しますけど、フリーゲージの今のこれまでの費用負担プラスの分です。

ここが700億という数字がもともとあったわけです。

それプラスの500億、プラスの1400億、プラスの5300億。

今回フル規格だと、もともとあった700億をプラスして、総事業費は6000億という試算がなされておりますけど、ここです、フル企画の追加負担金の詳細をちょっとお伺いをしたいと思っておりますけど、県が言っているのはこの6000億に対しての3分の2が国で、3分の1が地元負担ということで2000億という話が出ておりますけれども、改めてその追加負担金の詳細、フル規格、追加負担金、トータルの地元負担金の詳細をお伺いしたいと思います。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／整備新幹線に係る負担割合と申しますのは、JRの貸付料等を除いた残りを国が3分の2、地方公共団体が3分の1負担することになっております。

今回佐賀県が示されました2000億円は、JRからの貸付料等が不明だったために、賛成に加味されておらず、3月30日に国土交通省から与党PT検討委員会に示された***武雄温泉間（？）駅をフル規格で整備した場合の事業、6000億円に負担割合で計算いたしました2000億円を示されているものだと存じております。

以上でございます。

議長／7番 上田議員

上田議員／そうなんですよね、6000億の地元負担が3分の1で2000億という話です。

6月9日の佐賀新聞さんでありますけれども、佐賀の負担軽減検討、与党委員会、JRと長崎協議へという話の記事が出ておるわけですけど、ここにですね、前回の検討委員に出席し

た佐賀県の山口は、全線フルで整備した場合、総事業費 6000 億に対して県の負担額は歳出予算ベースで約 2400 億円にのぼり、長崎県の約 1000 億を上回るとする独自の試算を提示したと。

これでもですよ、この長崎の 1000 億というのは、J R 貸付料を想定をして、その分を含めた上での 1000 億なんですよ。

佐賀県が言っているのは、その J R の負担額を含めずに話してるんで、今後何かですね、フルは物すごくお金がかかるというような情報操作にしか私もなかなか感じない部分があって、これですね、福井県の建設費の負担イメージの図なんです。

ちょっと見にくいかもわかりませんが、福井県の、先ほど新幹線の図があった部分のこういうところですね、この辺の分の新幹線です。

負担総事業費は 7800 億。

これに対しての J R の貸付料、およそ約 3900 億ぐらいだろうと。

この J R 貸付料というのは、各自治体でオープンにされておられませんので、想定、あくまでもプロ野球の年俸と一緒にわかりません。

推定年俸幾らと。

その部分のというぐらいの感覚でしか見れませんので、恐らく佐賀の J R 貸付料もそこがはっきりしない、表にも***出ない。

だからこそ、入れてなかったんだらうと思うんですけど、この 7800 億の大体、おおむねですよ、これはもうもちろん、これからの交渉によるものという話を伺っておりますので、でもね、それでもおおむね半分程度はリース料が入ってるわけですよ、貸付料が。

だから、この残りの分の 3 分の 2 が国負担、3 分の 1 が地方負担というような図式になって、これが 3 分の 1 の 1300 億が地方負担となれば、これから地方交付税がまた措置がされて、残りの分が実質の地方負担という図式になるわけです、どこでも。

だから改めてちょっとお伺いしますが、ここの金額云々はちょっと置いといたとしても、J R 貸付料が入る前提で、この計算方式、おおむねのこの条件というか、そこら辺はこっちで間違いないですよ、イメージとして。

まずそれをお伺いしたいと思います。

議長／小松市長

小松市長／また繰り返しになりますけれども、新鳥栖から武雄温泉間をフルで整備したときには 6000 億かかりますと。

それを誰が負担するのか、J R の貸付料を抜いた分の 3 分の 1 を地方が負担をするということで、佐賀県は 6000 億で貸付料がわからないので、その辺はわからないから 6000 億のざっ

くりもう3分の1、2000億かかりますねというふうに質問(?)されているんだと思います。これについては、先日の与党PTでもですね、国土交通省も佐賀県の試算は正確ではないというふうに説明をしまして、与党PTの座長もですね、同様の発言をしているということでございますので、やはりこう2000億負担というのは、私はもう正確ではないと、佐賀県の負担は、それよりも少なくともわかっているのは確実に減るところだけは間違いないというふうに認識しております。

議長／7番 上田議員

上田議員／もちろん負担は当然出てくるわけでありまして、やっぱりそうなんです。

先ほどの市長の答弁の中でも、与党PTの話が出ました。

これは***フルカワヤスシ代議士のフェイスブックから引用したものであります。

6月8日7時45分に、今朝は新幹線西九州ルート検討委員会、***ミニ新幹線型のお弁当をいただきながら。

ここは***ですね。

ミニ新幹線の弁当を食べながら、新幹線のフルをどうするかという話をしよるわけですから。

ここでフェイスブックに上げられておりましたので、これをちょっと拡大を。

もちろん御本人の許可はいただいておりますけど、このようにJR貸付料、国、長崎、佐賀の負担割合、イメージがこれですね、こっちな。

実際の負担イメージは、貸付料は金額確定してませんから、貸付料はもちろん金額もありませんけれども、国の負担、それから交付税措置、交付税措置後の実質負担額というような格好で、佐賀県は2000億というのと全く違うですもんね。

もちろん、その誤差はあると思うんですよ。

2000億と言ったのが結局2200億になりました、1800億で済みました、そういうのはもちろんあると思うんですけど、そもそもの金額がまず算定根拠が違うというところがあるわけでありまして、今回、福井県のイメージ図、先ほどの図ですね、これと先ほどのフルカワ先生のフェイスブックの画像を照らし合わせて、おおむねですけど、これもちょっと見づらいと思います。

この6000億の新幹線工事費、これも全部約です、全部約です。

これはもうあくまでも仮定の図式にはなりますけど、おおむね2分の1はJR貸付料が入ってくるんじゃないか、その残りの分を3分の2、3分の1で、地元負担がおおむね1000億程度じゃないかと。

地方交付税の措置が約この程度、***60%分の措置がなされるということで、実質佐賀県

の負担は4460とか、これはあくまで仮定ですからね。

もちろん、こういう誤差もありますし、条件がまた変わってくるかも知れませんので。長崎県は、この金額をもっと負担を減らしてやろうっていうような協議をされているわけです。

それにさらに、固定資産税の収入等々も今後見込めるんじゃないかなと思うわけです。そういう中で私たちも、ちょっと一回、ちょっとここで質問をしたいと思いますけど、ざっくりイメージの図としては、これ金額はちょっと置いといたとしても、イメージとしてはもうこれで間違いはないんですよ、算定根拠として。

改めてちょっと答弁をお願いしたいと思います。

JR貸付料はおおむね半分程度、程度です。

これも交渉次第けん、金額は言えませんが、答えられんですか、どうなんですか。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／今の段階で貸付料等の金額はわかっておりませんが、考え方としては議員がおっしゃるとおりだと思います。

議長／7番 上田議員

上田議員／そうだと思うんです。

だから長崎県のほうとも、私たちも県内の市町の***を立ち上げる青年会等とも発足をさせていただいております、武雄からも私とか牟田議員、それから杉原議長も何度か引っ張り出して、この会にも参加をしたことがあるわけですが、改めてフル規格を求めていくことをその当時また確認をしたところであります。

長崎の先生方、たくさんいらしゃった会合でもありましたけど、今回、長崎新幹線鉄道利用促進協議会のほうから決議が出されてこれが可決をされております。

内容としては山陽新幹線への直通運行を実現し、現在整備中の武雄温泉、長崎間のインフラを十分に活用できる最善の選択肢として、フル規格により西九州ルートを整備すること。

併せて、ここは読まんでもよかったですね。

整備新幹線に伴う地方公共団体の建設費と負担について、建設費の縮減を図るとともに国が開発を進めてきたフリーゲージの導入が困難になったという特別事情も考慮し、負担軽減のための制度を充実、創設すること、以上を決議するという事で決議がされております。

もう本当に、これは佐賀県も本当はこういうのをどんどん出していかないといけない状況にあるんじゃないかなと思うわけですが、もう今、これまでもたくさんいろんな会合、

団体等々で市長もいろいろとお話をされてきたと思います。

GM21とか、市長会とか、そういういろんな団体もあるかと思いますが、***、武雄にとっては5市ネットワーク等々もあります。

もうこの後に、ここにきて、もう沿線自治体云々ということではなくてもう県内全域で、やっぱりフルじゃなからんといかんというような機運を醸成していくことがやっぱり必要なんじゃないかなと思うわけです。

ですので、県内のほかの首長さんたちと連携をとったりしながらでも結構です。

長崎も、佐賀の負担軽減をしたいけど、いろんな法の縛りもあってということでもいろいろ四苦八苦されております。

佐賀も、佐賀がとにかくフルでいいですっていうような手を、もうよかですよって、そんなかわり条件をちゃんとこういろんな、佐賀県に優遇してくださいよというような話をもっていくもう時期に完全にきてるというふうに私は思っているわけです。

なのに新聞報道を見るとかたくなに、国はお金がかかるということで、拒否感、反応をされている方もいらっしゃるわけですが、佐賀県の今後、武雄の今後を考えると、フルじゃないといけないと思うわけですが、改めて最後に市長の、この県内機運の醸成等々、これから市長の動き、期待するところでもありますので、お伺いをしたいと思います。

議長／小松市長

小松市長／議員の皆さま、そして、経済団体等々でも要望、そして動きをしていただいております。

さらに5市ネットワークでも前回、ことしはシンポジウムもありましたけれども、さらにそこを広げていって、さっき議員おっしゃるとおり、県内の市とまちがしっかりとやっぱり議論をします。

これまでその議論すらできないような環境でした。

武雄市と嬉野市が特にいろいろ言って、そしてほかはなかなか、いやちょっと、なんとも判断できないですねという状況で止まっていたんですけども、この前も市長会でも、やはり今後はしっかりと県内の市町、沿線自治体だけではなくて、県内の市町でしっかりと話し合っていこうと、そして名称は、そのときは研究会とか勉強会という名前だったんですけども、まずそれをやろうという動きが、ようやく、小さな一歩かもしれないんですけどもようやく動き出しましたので、そういったところでもしっかりと、特に私たちは嬉野市さんと市長がこれまで一緒に動いてきたところもありますので、その中でも、沿線自治体以外もこの新幹線に対して、どのように向き合うのか、そしてそこについては大いに今後議論をして、そういった首長の動きもさらに強めていきたいというふうに考えております。

議長／7番 上田議員

上田議員／まさにおっしゃるとおりだと思います。

国交省の、さきほど表を出したところで、山陽新幹線、なし、あり、あり、ありとかつていう表をまたぜひちょっと御確認をしていただきたいんですけど、フル規格だったら、新鳥栖駅、佐賀市近郊、武雄温泉駅ってなっとつとですよ。

改めてちょっと見ていただければわかると思うんですけども、だから国交省もそれなりにある程度ネタは持つとは何となく感じておるところであります。

とにかく、まずはその5市ネットワークの沿線自治体で各場所でも決起大会等々も実現をしてほしいと思うわけですけど、そういう決起大会の案等々は市長、お持ちではないでしょうか。

お伺いしたいと思います。

議長／小松市長

小松市長／そこは、嬉野市長さんとそういった話もしてますので、ぜひそういった今後の動き、具体的にどうするかは詰めていきたいと考えております。

議長／7番 上田議員

上田議員／ありがとうございました。

以上で終わります。

議長／以上で、7番 上田議員の質問を終了させていただきます。

ここで、モニター準備のため、10分程度休憩をいたします。

* 休憩中 *

議長／休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を続けます。

次に、3番 猪村議員の質問を許可いたします。

御登壇を求めます。

3番 猪村議員

猪村議員／おはようございます。

新庁舎で一般質問、しかも２期目、しっかりと今期も頑張っ、一般質問欠かさずやっていたいというふうに思っております。

それでは、６月議会、また皆さん大聖寺の映像やろうと先輩議員さんからも言われましたけれども大変美しい大聖寺のあじさい祭り、ぜひ皆様方、山に登ってすがすがしい空気と美しいあじさいを見に行ってください。

北方からも、若木町からも登れます。

よろしく願いいたします。

それでは私の一般質問、市長の政治姿勢について。

1. にぎわいづくりについて。
2. エリア開発について。
3. 子育て政策について。
4. 交通政策についての４点でございます。

市長の政治姿勢について、にぎわいづくりについてでございます。

佐賀藩士、54名の三珠の眠る地、秋田戊辰の役で殉難された佐賀藩士54名の御霊の眠る地、秋田市の葉隠墓苑の写真を議長からいただきまして映らせていただいております。

ここに慰霊碑が建てられ、そして佐賀藩士の皆様が秋田市を見下ろす、眼下に見下ろすすばらしい土地にお眠りになっていらっしゃいます。

この戊辰の役から150年、そして新庁舎の開庁記念に秋田竿燈まつりIN武雄、きのうからも先輩議員さんたちが多くの質問をされております。

私の前の上田議員さんも質問されておりますが、すばらしいこの秋田竿燈まつりを、この目にすることができて市民の皆様と、そして地域の皆様と、家族と一緒に目にすることができるとなるとは夢にも思わなかったことでございます。

多くの皆様方が歓喜に震え、そしてこの竿燈に魂が宿り、脈々と絆をつないでいただきました先人の皆様方に感謝をするばかりでございました。

新庁舎の改築記念、それから開庁記念、明治維新150年記念に基づくこの秋田竿燈まつりIN武雄、先ほどからたくさん、先日も質問がございましたけれども、まずは経済効果という非常に何かおこがましいような、崇高な祭りでございました。

きょう傍聴にお見えの皆様方も、お見えになっていただき本当によかったねと、もうごがんお祭りば見られるって思わんやっ、もう歓喜に震える声でたくさんのメールや電話をいただきまして、お会いする度にまだまだ余韻が続いているんじゃないかなというぐらいに皆様方喜ぶ、喜んでいただけるようなお祭りじゃなかったかなというふうに思っております。

市長本当にありがとうございますという声がたくさん私にも届いております。

どっこいしょ、どっこいしょ、もういつまで市長さん***やろうかと、大丈夫やろうかのどは、***市民の皆さま方も心配していらっしゃいました。

この経済効果について、また市民の満足度について、それから歴史や文化を通じた教育的絆の構築、こういった点において一般質問まずさせていただきたいというふうに思います。

先ほども質問が、上田議員さんのほうから質問ございましたけれども、経済効果、るる質問がされておりますが、もう一度答弁をよろしく願いいたします。

議長／神宮営業部長

神宮営業部長／お答え申し上げます。

繰り返しになりますけれども、改めてということで答弁いたします。

8万人の御来場者の方がいらっしゃいました。

観光消費額に換算いたしますと約5億円と数字が出てまいりました。

それと新聞、テレビ、雑誌など多くのメディアの方に取り上げていただいたとの広告効果は約4,500万円でございます。

これらを元に経済波及効果に換算いたしますと約9億円の経済効果があったということでございます。

2点目の市民満足度でございますが、これにつきましてはアンケート等、実際は実施をしております。

統計的な数字を持ち合わせておりませんが、各種団体等の会議の席で事業の報告、秋田竿燈まつりのお礼等した際に大変よかったという声を8割強の方々からいただいたわけでございます。

以上でございます。

議長／小松市長

小松市長／ここで言うと3番目に関連すると思うんですけども、私が終わった後によく言われたのが、最初は何で秋田っていうふうに思ったと。

でもこれをきっかけに、ああ、武雄と秋田にはこんなつながりがあったんだということがわかったということ、そういうお話をよく聞きました。

あとはやっぱり武雄の歴史を知るきっかけになったという声もいただきました。

まさに今回の秋田竿燈まつりがきっかけで地元に対する誇り、そして地元の歴史をまた知りたいと、そういった次のステップへの大きなきっかけになったんじゃないかと考えておりま

す。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／今、市長もおっしゃっていただきましたけれども、歴史や文化を通じた教育的絆の構築、こういった再構築でしょうか、こういったこともこの秋田竿燈まつり、ただ、ただのお祭りではなくて、歴史や文化をしっかりと受け継ぐ、そしてその背景を私たちは知る必要がある。

武雄市内でもっともっと多くの学びの機会を展開する必要があるんじゃないかなというふうに思うところでございます。

今、武雄市図書館でも特別展が開催されております。

また、佐賀県においても明治維新150年祭が繰り広げられております。

私どもも地域の皆様と一緒に県のほうにも赴いて勉強を深めたいと、学習を深めていきたいというふうに思っているところでございます。

また、先日は山内町の黒髪の黒髪大学におきましても、佐賀城歴史記念館、歴史館の学芸課長でありますウラカワ課長をお招きしてのお話を私も拝聴することができました。

こういったことで今後さらにこのお祭りを、竿燈まつりを武雄市で開催することももちろん大事なことでございますが、こういった教育的な絆の構築をさらに深めていくということが最も私は大事なことではなからうかなというふうに思っているところでございます。

秋田に赴く子どもたち、そして市民の皆様も赴くということで補正予算がなされておりますが、そこにはちょっと触れることができませんけれども、教育委員会においてこのような取り組みを今後どういうふうに展開させていこうと思っていらっしゃるのか御答弁をお願いいたします。

議長／浦郷教育長

浦郷教育長／秋田竿燈のことが議題に多くなっております。

何であんなに盛り上がったのかなということを改めて考えますと、穂積市長さんが鎮魂の思いで演じますということで語られました。

それから私どものほうも、残念ながら戦に倒れられた方々を丁寧に葬っていただいて、今も祀っていただいているという感謝の思い、そういう思いがあったからこそ、単なる秋田竿燈に来てもらったんじゃない、物すごい盛り上がりになったんじゃないかなという思いがいたします。

こういうところの(?)交流、これまで続けていただいた方々にも感謝しつつ、この交流のあ

り方というのを考え、大事にしていきたいというふうに思います。

同時に恐らく物すごい勢力(?)があっただけに悩まれたこともあったんじゃないかとも思うんですけども、これからの行く末を案じて先進的に取り組まれたと、そういう精神も受け継いでいきたいものだというふうに思うところです。

そういう中で、今回もケーブルテレビさんに協力いただいて、各小中学校に事前に歴史資料館に流しておりましたビデオ等も回覧(?)することができました。

ということで、モニターお願いします。

「どーして武雄で秋田竿燈なの？」と、子どもたちの目線に立った、目線でのテーマにいたしまして、5月27日まで開催したところであります。

引き続き、現在、今お話にありましたように、7月1日まで「武雄軍団秋田を駆ける」という第2段をする予定にしております。

それから、その次は秋田とはちょっと話、離れますが、維新150年にちなんで8月5日まで山口康雄の企画展を予定をいたしております。

こういう形で150年という節目の年、それを生かしていろんな企画展、それから副読本を、子どもたちが理解できる副読本を今進めておりますので、これもより意義あるものにしていきたいというふうに思っております。

また歴史資料館でも出前講座等にも出向いて***ようなお話もさせていただいて、いろんな場と機会、方法で150年ならではの子どもたちへの教育、そして市民の皆様への理解を深めるようなことを進めていきたいというふうに思っております。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／ありがとうございます。

副読本もできるということとさらに子どもたちの学びの深まりにもつながるのではなかろうかというふうに思っております。

ぜひとも、これで終わるのではなくて、さらなるこの秋田との交流、そして秋田市は全国1、2を争う教育県でもございます。

しっかりとこういったところでの交流も深めていただきたいというふうに思っております。よろしく願いいたします。

本当にありがとうございました。

職員の皆様、夜遅くまでお疲れさまでございました。

それでは、次、エリア開発についてでございます。

関連してですけども、高野小原住宅の建設について、北方町に今度新しく建てかえが計画されている高野小原住宅の建設について進捗状況をお尋ねをいたします。

議長／高倉まちづくり部理事

高倉まちづくり部理事／おはようございます。

高野小原総合建てかえ事業の進捗状況でございますが、現在、両住宅入居世帯にアンケートの調査を実施したところでございます。

このことによりまして、再入居希望の世帯及び希望部屋のタイプ等を把握をしたところでございます。

今後はこのアンケート調査を踏まえながら今年度中に実施設計を行い、来年度から工事着手を行い、32年度末に躯体住宅本体の建築及び外構工事を完了する予定で進めているところでございます。

以上でございます。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／ありがとうございます。

次に34号バイパス延伸について、これも関連した質問でございますが、現状とそして今後どのようにしていくのか、御答弁をお願いいたします。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／国道34号バイパス延伸の進捗状況についてということでございますが、昨年度開通いたしました区間を含みます、北方町の区間約2.9キロが平成30年1月26日付で武雄市都市計画道路として決定されたところでございます。

今年度につきましては、新しく整備を予定しております区間につきまして調査費、設計費5000万円が計上されております。

なお、今後の具体的な整備計画についてはまだ決められておりません。

以上でございます。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／ありがとうございます。

こちらは武雄市の東の玄関口の、武雄の地図でございます。

今いただきました御答弁をいただいたところは、こちらでございます。

住宅地がこちらのほうに移転をするということでございまして、バイパスの延伸がこちらから向かっていくということになります。

このエリア開発についてというような質問をさせていただいておりますが、この地域は 34 号バイパス延伸、住宅の建てかえ、高野小原団地の住宅の建てかえ、常襲水害地、新幹線の複線化の工事、変則交差点改良、また信号機の設置の要望など、そして新橋付近の道路改良の要望なども地元から上がっている地域でございます。

また、国道 498 号の整備、きのうも松尾陽輔議員さん一般質問されましたけれども、牟田議員さんも一般質問されております。

きょうもこの後でございますが、ルートの決定、それから、34 号線のこれ見えております、ずっと行きますけれども、グルメロードと言われるようなところのさらなる発展、そして、私もそうですけれども、先輩議員さんたちも体育施設の建設の要望を北方でもよくはないかというようなお声も頂戴しているところでもございます。

武雄市の東の玄関口である北方のエリア、また、この市内にそういった箇所がほかにもたくさんあるというふうに思っております。

そういったエリア開発を柔軟に、またかつしっかりと計画書を立てて、そしてエリアを開発させていく、そして課題を解決していく。

安心安全な、市長の政治姿勢でもあります安心安全でもっと暮らしやすい武雄市をつくっていくためにも、こういった計画書を立ててしっかりとまちを延伸させていく、こういったところが私は必要ではなかろうかというふうに、前も一般質問をさせていただいております。そのときの答弁は、スター戦略を今は立てておりますのでそれでやっていくということでありましたけれども、このエリアの開発、ここら辺の地域はこういうまちにしていこうか、山内はこういうふうに、朝日はこういうふうに、橘はこういうふうなまちになってほしい、そして武雄市がもっと発展するんじゃないか、そういったところをしっかりと計画を立てて、しかも柔軟にローリングさせていっていいと思うんです。

社会の流れ、変革は激しいです。

しかしながら、計画は立ててほしい。

そういった思いでいっぱい、何回も一般質問させていただいております。

御答弁お願いいたします。

議長／小松市長

小松市長／まさに土地利用のあり方は、まちづくりのあり方でもあるというふうに思っております。

まさに問題意識は同じでございまして、今年度、市役所の中に土地対策室を新設をいたしま

した。

その土地対策室をつかって、そして今後はしっかりと調査もして、武雄市の土地利用計画の策定、ここにつなげてまいりたいというふうに考えております。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／市長を初め、まちづくりの部長、それから県議、また議長など、要望活動に日ごろから邁進をしていただいております。

34号バイパスの延伸、それから水害の問題等々もしっかりと要望活動をしていただいているというようなことも聞いてもおります。

今後とも、議会も中心になって、地元の方々との協議を重ねながらすばらしいエリア計画の開発をして、もっともっと住みやすい、もっともっと暮らしやすい武雄市をつくっていきたいと、皆様方とともに議会も一緒につくっていききたいというふうに思っております。

どうかこの計画をしっかりと立てて、土地対策室を設置をしていただきました。

本当にこれからの延伸を期待をしております。

よろしく願い申し上げます。

それでは次にまいります。

子育て政策についてでございます。

きのう、山口昌宏議員からも一般質問がございましたけれども、私にもこの保育士不足について、保育士が足りん、介護士さんの不足もそうです。

今働き手の方々が不足しているというようなところでお店を閉じられるチェーン店もございます。

そういった中で、この保育士不足については市長の子育て政策一丁目一番地の政策でもございます。

この保育士不足について全国的にも同様と思われませんが、この武雄市の現状について、また対策についてお尋ねをいたします。

議長／松尾こども教育部長

松尾こども教育部長／おはようございます。

対策についても引き続いてよろしい、まとめてということ。

まず現状ですけれども、昨日16番議員に答弁をした内容と重複いたしますけれども、近年共働き等の増加により保育のニーズが高まっており、特に一人当たり多くの保育士を必要とする0歳、1歳、2歳の保育の入所希望者が増加をしている。

これに加えまして、延長保育など保育のニーズが多様化しており、その人材の確保が非常に厳しい状況ということになっております。

そういった中で武雄市の子ども子育て会議においても、現場では保育士が不足している、いい保育、教育環境をつくるためには市においても人材確保の取り組みを検討していただけないかという意見が多く出ている現状でございます。

そういった中での今後の人材確保の取り組み、現在では市内の保育施設におきましても、県や民間団体が主催します就職説明会への参加、そして保育士を養成されている大学等を訪問しての採用活動などに取り組んでいただいている状況です。

武雄市の今後の保育士の人材確保の対策につきましては、保育士の資格を持ちながら保育の現場で働いておられない潜在保育士の方に対し、復職を促す再就職研修会を来月から開催を予定しております。

研修会に要する経費の一部については今議会で補正予算を提案しているところであります。そのほかですけれども、他の自治体ですけれども、自治体内の保育施設に新たに就職される方に対する就職準備金の支給などを実施している自治体があります。

現在そういった自治体の事例について調査・研究を行っており、今後保育士の確保、保育の質の向上、保育士の働きやすい環境づくりにつながる効果的な取り組みについて提案、実施していきたいというふうに考えております。

議長／部長、今回予算に上がっている部分にちょっと触れておりますので、ちょっと予算に上がっている部分は用心して、注意をして。

3番 猪村議員

猪村議員／ありがとうございます。

保育士不足についてはもう待たなしでございます。

早く手を打つ、カンフル剤というものがなかなか見つからない状況ではありますけれども、きのう山口議員もおっしゃいましたけれども、唐津市が保育士さんに対する準備金を20万出すというようなことも伺っております。

武雄市も現実的な打開策がもう必要になってくるんじゃないかなというふうに思っています。武雄市は先般、佐賀女子短大との協定を結び、教育や観光、そしてまちづくりに学生を巻き込んで、そして一緒に、若い人たちとともにまちをつくっていこうというような協定も結ばれたというふうに思っております。

そういったところで、佐賀女子短期大学との連携、また、先般私も一般質問させていただきましたけれども、西杵団地等々、武雄市内の団地、最上階、もう4階5階になると上まで登り切らん、構造上そういったところがまだ市内にございまして、そういったところに住んで

いただいて、そして勤めていただいて、そして地域のまちづくりにも参画してもらおう。
そういったことも***なかろうかというようなことも申し上げたことがございます。
市長、この保育士不足について市長の考えをお聞かせください。

議長／小松市長

小松市長／先ほど部長から潜在保育士に対する研修を予定しているというような答弁ありましたけれども、これについてはまさに現在予算案で上がっておりまして、その事業の必要性、そういったものについては今議会で議員の皆様にご議論をいただくというところでございますので、その発言については訂正をさせていただきたいというふうに思います。

その上でなんですけれども、昨日も私お答えした話なんですけれども、やっぱり保育士さん、いかに入り口部分で、保育士になりたいというふうに思っている方に、いかに武雄市内で保育士になっていただくか、就職していただくかというところがまず一つあると思います。

さらには就職した後いかに離職せずに働けるかということで、ここについては恐らく職場環境というところはあると思います。

今、保育園でも本当にいろんな職場環境をよくしようということで各園取り組んでおられますけれども、例えばそういうところに対して何かさらに一步の支援ができないだろうか、主にこういう2点について今後ぜひ現場の話もしっかりと聞いて、そして対策を講じていきたいと考えております。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／ありがとうございます。

人生100年時代といわれる中でのリカレント、保育士に限らずどの分野でも学び直しは必要になってくるというふうに思われます。

今生まれてくる子どもたちは、人生を100年生きるといわれています。

そういった中での生きるということ、生き抜くということも加味するこのリカレント、しっかりとやっていただきたいというふうに思っております。

また、子育て支援センターで日ごろからサポーターの養成講座を行っていただき、地域で抱っこボランティアとか、いろんな事業が開催されるときに、そこから一步出向いていただいて、抱っこしたり、ミルクを飲ませていただいたり、そういった地域の方々が学ぶ機会、そして生きがいをつくったり、喜びを感じていただく、そういった事業が多く展開されております。

また、そういった事業をワンランクアップさせて、地域の方々にもしっかりと学んでいただいて、認定こども園、それから幼稚園、保育園にお手伝いに行こうかね、そういうふうなことになるればいいなというふうに思うところでもございます。

学びをしっかりと生かすというような取り組みに変わっていけばいいなというふうに思います。

これは提案になるのですが、地域型保育事業というものがございます。

ちょっと小さくて見にくいかもしれませんが、地域型保育事業という取り組みがございまして、4つ種類がございます。

1つは小規模保育事業、家庭的保育事業、事業所内保育事業、居宅訪問型保育事業でございます。

一昨年度、この小規模保育事業に取り組むと佐賀市が開設をされましたということで、2年もたたないかと思えますけれども、前に一昨年度見学に行かせていただいたことがございます。

それから何と佐賀市さんは、需要もあると、保育園が足りないということもあると思うんですけれども、2年足らずで20の小規模保育事業が展開されているというふうに聞いております。

すごいなというふうに思っておりますが、なぜ私がこのことを申すかといいますと、この小規模保育事業は、6人から19人までしか保育をすることができません。

そして、0歳、1歳、2歳まで。

しかしながら、家庭的な雰囲気、佐賀市で私も見学をさせていただいたところは、自宅を改装して、そして小規模保育事業に取り組まれていらっしゃいました。

非常に家庭的な雰囲気、0歳児、1歳児、2歳児さんが落ち着いた生活をそこで送られていらっしゃいました。

いいなと思いました。

しかしながら、課題もございます。

3歳児になったら別の園に通わなければならないというようなこともあります。

しかしながら、武雄市内にある認定こども園さん、それから保育園さん、そういったところに御協力をいただいて、こういった事業の展開もなされれば、0歳、1歳、2歳児の受け皿が武雄市でももう足りなくなっているというような答弁もありましたので、ぜひこういったところも検討をさせていただいて、来年、保育料の無償化も上がっておりますけれども、今後武雄市の保育園、認定こども園さんたちが、幼稚園が不足しないとも限りません。

たくさんの方々には武雄市に住んでいただくためには、こういった取り組みも大事になってくるのではないかなというふうに思います。

ぜひ、こういったところも検討をさせていただいて、小規模であったかい雰囲気、また空き

家も使っていただく、そういったところでぜひ高齢者の方々、そして学び直しをした方に努めてもらう、参画してもらう。

そして空き家の改善にもつながる。

0歳児、1歳児、2歳児さんたちが家庭的な雰囲気保育を受けることができる、一日過ごすことができる、働き手も不足しています。

しかしながら、子どもたちにとっての環境はしっかりと整えていかなければなりません。

おうちで御家族がしっかりと子育てをしてくださる、そういったことも本当に大事だというふうに思っておりますが、この経済環境、そして社会情勢を鑑みますと、こういった取り組みもいってでは(?)なかならうかなというふうに思うところがございます。

ぜひ、武雄市としても検討していただき、きょうは答弁を求めませんけれども、市長こういったところもしっかりと町内でも勉強会していただきまして、取り組みを強化していただければと。

子どもたちのためでございます。

どうかよろしくお願い申し上げます。

それでは、次に参ります。

交通政策についてでございます。

みんなのバスについて。

今、このみんなのバスの運行状況、私も前一般質問、今回で3回目になりますが、させていただきますが、みんなのバス現状、御答弁ください。

お願いいたします。

議長／古賀企画部長

古賀企画部長／モニターお願いします。

みんなのバスの現状でございます。

お示ししておりますスライドは、平成29年度の実績のほうをお示しさせていただいております。

市内に11路線走っております。

年間の利用者数が9297名ということで、一便当たりの平均が1.5人というふうになっているが現状でございます。

なお、平成30年度から下の2つ黄色の若木町につきましては、4月からデマンドタクシーへと移行しているところでございます。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／すみません、今のモニターそのままお願いしてよろしいですか。

9297名の方が利用されていらっしゃると思います。

利用されている方はですね、本当によかった、これで病院に行けようという方もいらっしゃると思います。

ありがたいことだなど、ありがたい取り組みだなどというふうに思っておりますが、いかにせん平均が1.5人ということでございまして、これは非常にもったいないなというようなことを感じる日々でございしますが、そういったことを思っているのは私だけではないというふうに思います。

モニターチェンジお願いいたします。

再三再四言っておりますが、これ許可いただいて映させていただいておりますが、みんなのバスのラッピングのことでございます。

以前は大阪狭山市に出向いたときのさやりん号をモニターに出させていただきましたけれども、以前豊村議員さんが市のマイクロバスをラッピングしたらどうかというようなことをおっしゃいました。

市外にも出向きますし、武雄の広告をしたらどうかというようなこともおっしゃいました。それも本当にそうだなというふうに思いますが、ああ、みんなのバスが通っているという目印ですね。

今、白い車に黒字でみんなのバス、それもちょっと剥がれかかっていたりします。

そういったところを改善して、ディズニーとまではいきませんが、市内の、先ほどモニターで見ていただきました大聖寺のあじさい、また春になりますと桜が咲きます馬場の桜、若木のジラカンス桜、そして武雄の梅園では梅も咲きます。

そういったところをちょっとマグネットでつけるというようなこともできるというふうに思っています。

あ、みんなのバスに乗ろう、みんなのバスここばかり通ろうとねというようなことがわかるようなラッピングをちょっと考えていただけないかなというふうに、再三再四でございしますが御答弁をよろしく申し上げます。

議長／古賀企画部長

古賀企画部長／ラッピングについてでございます。

現在、若木を走ります前の***バスの路線につきまして現在ジャンボタクシーでの運行をしております。

これにつきまして牟田議員さんのほうからも前にお話がありまして、そういうふうな形で現

在ラッピング等を検討しているところでございます。

これにつきましても台数等も路線等も非常に多ございますので費用等を考えながら少し検討させていただきたいと考えております。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／ありがとうございます。

ラッピングは検討していただいているということでございますので、楽しみにしたいというふうに思っております。

また、このみんなのバスは地域で検討していただいて、路線などはつくっていただいているということでございますが、高齢化が進む中、免許証を返納したかばってん、バス停まで2キロ3キロああもんねとか、もう返納すつき、買い物とか病院がちょっと行きづらくなるというような声も、選挙戦のときでも非常に多くいただく声でございました。

そういった中でこの乗り降りの仕方、またルートのことですね、そういったところを、例えば手を挙げてとまってくださらないか、それとか路線をもうちょっと小まめに回っていただくことができないか、そういった路線のこと、そういったことを御答弁をお願いしたいというふうに思います。

いかがでしょうか。

議長／古賀企画部長

古賀企画部長／みんなのバスの乗降場所につきましては、乗降場所が決まっている路線、また、フリーで乗降ができる区間というものがございます。

今これにつきましては、路線を決定する時点で地域の方と協議をした上で決定をしているところが現状でございます。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／みんなのバスについても、もっと利便性よく走っていただきたいという声がたくさんありますので、そういったところで、手を挙げて止まっていただいて、乗っていただく、そういったことも一つは検討していただきたいというふうに思っております。

また、市内循環バスでございますが、市内の皆様へ、お手元に、29年度の1月1日発行で、この時刻表がお手元に届いているというふうに思われます。

非常に、すばらしい出来じゃないかなと思って、私いつも手帳に入れておるんですけども、

これは本当にしっかりとつくっていただいております、5ページ、6ページに市内循環バス、朝日橋武雄線、それから2番の武雄循環バス、武内武雄線若木経由、この2路線が今武雄市の中で循環バスとして、民間のバスが動いてくださっています。

こういった循環バスも、みんなのバスと同様、例えば小型化をして、もう少し市内にこまめに回っていただく、そういったところも重要になってくるんじゃないかなというふうに思っております。

とにかく高齢化をして、今回交通高齢者パッケージで、交通券を6月15日から受付がなされて発行になります。

75歳以上の方が、そういうチケットを生かしてお出かけして下さったら本当にいいなというふうに思っているところではございますが、いかんせん、バス停まで***そういう周辺部もたくさんございます。

せつかく市内を循環するバスがある。

日曜、祝日は休みになっておりますが、もっと利便性よく、みんなのバス同様、地域の交通の原点としてですね、高齢者の方のみならず、妊婦の方々、そしてお産をして子どもを連れて病院にいかんばいかん、そういった方々にも利用しやすいような循環バス、みんなのバスにしていきたいというふうに思いますが、市長、このような、この交通政策についていかがお考えでしょうか、御答弁お願いいたします。

議長／小松市長

小松市長／循環バスに限らずですね、公共交通、全体のあり方ということはしっかりと考えていかなければならないと思っております。

それは移動手段ということに加えて、やはり福祉政策という面も、これからはますます強くなっていくというふうに思っています。

そういった形で、まさに町内でもですね、そこはバスは企画、福祉は福祉部ではなくて、やはりそこは横断的に考えて、市民の皆さんにとって一番いい公共交通のあり方、これについてはですね、しっかりと全体を考えていく必要があると思っておりますので、今後取り組んでまいりたいと思っております。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／ぜひ、ぜひ考えてください。

よろしく願いいたします。

先ほど、それからですね、バス停の整備、これも重要じゃなからうかなというふうに思いま

す。

バス停まで行ってバスば待とうというふうなことを考えてくださるような、物理的な環境もしっかりと整えていただければなというふうに思います。

これは、今開発を途中の新幹線の駅舎の南側のバス停でございます。

あ、すごいなというふうに思っております。

ちょっと太陽光もついたりして、非常にわかりやすいし、中で私がちょうど写真を撮りに行ったときの2人の方が、観光客の方、キャリーケースを持って、そしてここにお座りになっていらっしゃいました。

平日でありましたけれども、もう本当によろこそ武雄市へという感じでもございましたけれども、こうやってバスに乗っていこう、バス停で待ち合わせをしよう、椅子があるね、この先にもちょっと椅子を置いていただいております。

そういったところで、こういう配慮も必要ではなかろうかなというふうに思っております。

どうかこういった取り組みもあわせてよろしく願いいたします。

先ほど、若木町のデマンドタクシーのことが出ましたけれども、もう一度この若木町のデマンドタクシーについて御答弁をよろしく願いいたします。

議長／古賀企画部長

古賀企画部長／若木町のデマンドタクシーでございますが、路線、乗降場所、運航時間を設定いたしまして、予約のあったときに乗り合いにより運行するものであります。

若木町はこれまでみんなのバスの路線を維持いたしまして、上若木線が月曜日と木曜日、川古本部線が火曜日と金曜日に運行をしております。

発着点は若木公民館で、1日10便で設定をしており、予約があったときのみ運行をしております。

なお、運賃につきましてはみんなのバスと同額、中学生以上が200円、小学生以下及び障害者の方につきましては100円で運行をしております。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／ありがとうございます。

上若木線が月曜日、木曜日、川古本部線が火曜日、金曜日で、今年度からデマンドタクシー予約制で回るといような取り組みもなされているということで、若木町の方々にとってはお出かけ、そして交通の利便性、住みやすいまち、そういったところに若木町、配慮をいただいているなというふうに思っております。

議員さんたちも一生懸命頑張ってください、声をあげてくださっている成果が出ているんじゃないかなというふうに思うところですが、一つこれは有田町の事例なんですけれども、有田町もデマンドタクシーを回していらっしゃいます。

曲川大山ふれあいタクシーということで、この有田町の取り組みはおうちまで来てくださいます。

予約をしているとおうちまで来てくださる。

個人ではなくて乗り合いです。

乗り合いでお迎えに、個人のお宅まで迎えに来てくださって、行くところが、箇所は武雄同様決まっております。

そういった取り組みがなされているところもございます。

おうちまで来てくださると、高齢者の方が、例えばお一人でお住まいの方、タマネギや、例えばトイレトペーパー、じゃがいもとか、そういったものは買うと重うございます。

おうちにお迎えに来てくださると、自宅に迎えに来てくださるとそういったものも買いやすい。

そして乗り合いですので、ところどころで知り合いの方とも一緒になる。

そういったところでの取り組みも有田町でなされていると。

エリアを限られてですけども、200円から300円の費用を1回乗車で払っていただくということもございます。

そういった取り組みもなされているところがございます。

御家庭に高齢者の方もそうですけれども、妊婦の方とか、産後間もない小さい赤ちゃんをお持ちの方とか、そういったところも高齢者のみならず利用ができるようなデマンドタクシー、そういったものもしっかりと取り組んでいただければなど、これは提案でございますが、どんだん地域の方々、市民の皆さまの声を聞いて、市長、政策に生かしていただきたいというふうに思いますが、このデマンドタクシーについて、市長、どのような御見解でいらっしゃいますでしょうか。

お尋ねいたします。

議長／小松市長

小松市長／今回、若木町でまさにデマンドタクシーという試みをしておりますけれども、今、有田町が言われたのはちょっと私も不勉強なものですけれども、恐らくデマンドタクシーで路線を決めずに、何かエリアで考えると。

このエリアの中だったら家からどこかまで行くよということなのかなというふうに思いました。

デマンドタクシーについても恐らくいろいろなあり方があると思います。

実際の地元の皆さんの声、そしてそれを運行する、だれが運行するのか、事業者の方との調整であったりそういった面はさまざまあると思いますので、そこについては我々もしっかりとデマンドタクシーについても引き続き勉強をして、そして、今、若木でもしていますけれども、さらに今後全体としてどういう交通体系が一番いいのかというところは先ほども申し上げましたけれども、しっかり取り組んでまいりたいと考えております。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／有田町も武雄市と同じように行く箇所が決まっております。

四季ありた、小嶋内科、有田町役場、そして商業施設、そういった役場ないし商業施設ないし病院、そういったこと、箇所を決められていらっしゃるようでございます。

また、デマンドタクシーのほかに、これも一つは例えば地域で車を市の車、まあ電気カーでも何でもいいと思いますけれども、きのう***もおっしゃいましたけれども横の連携をとって、地域包括ケアシステムの中で、福祉の中で、市長も先ほどおっしゃいました福祉の中でも考えていかなければならないところだろうというふうに思いますが、地域の方々が地域で車を回して、顔の知った方々が同士で地域のタクシーを回すというようなデマンドタクシーを地域でつくるというようなところも、一つはこれから検討の余地があるのではないかなというふうに思います。

課題もたくさんあります。

だれが運転するのかそして保険の問題とかもあるでしょうけれども、さまざまな問題をクリアしていきながら、武雄市独自の交通政策をどうか小松市長とっていただきたいというふうに思うところでございます。

これは人口構造の変化でございますが、皆様方御存じのとおり 2060 年には総人口は、日本の人口 8,674 万人ということで高齢者がもう 4 割、生産年齢人口よりもふえるというような、ふえるというかわらない状況に陥ってくるというようなところも統計が出されております。2025 年問題も近いです。

しかしながら 2025 年から高齢化がもっともっと進んで、私もあと 40 年も生きるかどうかわかりませんが、こういった問題が生じてくる。

武雄市にもっともっと住みよいまちの空気を、風土をつくっていく、それがこれからもっと大事になっていく。

真剣にこの人口構造も考えながら、少子高齢化に対応していく、負けずに武雄市をつくっていく、こういったことが大事になっていく。

市長、2 期目、きょう新聞に載っておりましたけれども、しっかりと取り組んでもっともっ

と住みよい武雄市をつくっていただきたい。

そして議会もともにつくっていく、市民の皆さんと一緒にあってつくっていく、そういったことをきょう市長もしっかり答弁でおっしゃっていただきましたので、期待をしながら私の一般質問を終わらせていただきます。

議長／以上で、3番 猪村議員の質問を終了させていただきます。

ここで、モニター準備のため、10分程度を休憩いたします。

* 休憩中 *

議長／休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を続けます。

次に、18番 牟田議員の質問を許可いたします。

御登壇を求めます。

18番 牟田議員

牟田議員／議長から登壇の許可をいただきましたので、質問を開始したいと思います。

最初にさっきの質問のところちょっと思ったところなんですけども、若木町のデマンドタクシーって出ましたよね。

デマンドタクシー、デマンドタクシーっていわれますけど、デマンドってどがん意味か知っていますか、皆さん。

そういえば行政用語は、例えば地元説明に来たときも、デマンドタクシー行きます、デマンドタクシー行きますって。

この中でデマンドの意味がわかる人ちょっと手を挙げてみてください。

わかあですか、デマンドっていう意味が。

デマンドっていうのは要求っていう意味ですね。

要求があったところにタクシーが行くという。

行政用語でよくデマンドってよくありますけども、デマンドって説明されますけども、そこからまず変えていただきたいという要望を前に出しました。

できればわかりやすい行政用語、行政用語をかみ砕いて、きちんと市民にわかりやすい言い方というのも一つの方法ではないかと思ひ、ちょっと先ほどの質問で思ったことを述べさせていただきました。

猪村議員さん申しわけございません。

ここで質問するのは、もちろんこの審議場で初めてなんですけども、やっぱり全然違います

ね、感じが。

多分少しずつ改善はされていくとは思いますが、きのうの質問を見ていくと今までのテレビとの角度とは違う、多分ひょっとすると、私背もそこそこ高いですし、横はもっと大きいですから後ろ議長さん見えないんじゃないですかね。

そういうところもやっぱり少しずつ改善していく一つかもしれませんし。

かつて武雄市の議場というのは広がったですよ。

広がったその理由の一つは、モトヤマショウタロウという市長がいらっしゃいました。

そういう中で、うちは10万都市を目指すよ。

観光、温泉、そして、そういうふうな高速も鉄道もあるから、ハブ都市を目指す、今でいうハブ都市を目指すから、10万都市を目指す、だから議場も大きくつくと、そういうふうな気概がありました。

やっぱりそういう気概を持って、これから執行部のほうも市政に当たっていただければと思います。

質問を開始します。

まず一つは今言いましたハブ都市構想について。

2つ目、周辺部対策、いちいち読み上げるのは、見たらわかりますので言いませんけども、今さっき市長が答弁の中で武雄市温泉駅からという言葉が使われましたよね。

乗って行ったとか、武雄温泉駅という言葉を使いました。

武雄温泉駅というのは、1975年に武雄駅から武雄温泉駅に変わりました。

今もそうですけども、市名と温泉がついた駅というのは日本で2つ。

武雄温泉駅と人吉温泉駅(?)、これ2つだけです。

もうすぐ新幹線が開業すれば嬉野温泉駅というのができます。

武雄温泉駅にとまって次は嬉野温泉駅ということになります。

そういう中で市長はハブ都市構想ということでは言われました。

ハブ都市構想、物すごくいいことだと思いますし、武雄がただ佐世保との分岐点だからハブ都市じゃなくて、分岐点もあるし、いろんな面に向けて武雄は中心になっていく、西九州、西佐賀の中心になるような、先ほど言いました気概を持って、ぜひ計画を進めていって、先ほどいわれました***についても頑張っていただければと思いますし、我々もこういう場で提言、そして質問をやっていければと思います。

先ほど言いました嬉野の話ですね。

広域連携という言葉もありますけども、やっぱり先ほど言いましたように、武雄市の温泉というものを物すごく大事にしていかなきゃいけないという気持ちはあります。

武雄市は今まで、JR駅もあります、高速のインターもあります。

国道というのはちょっとつけ加えて書いたんですけども、あります。

嬉野は高速インターで、今までJRの駅はなかった。

そういう中で武雄と嬉野の観光を比べた場合どうなるか。

平成28年と昨年ですね。

宿泊数は武雄が26万人、嬉野市は61万人、武雄の倍以上嬉野に泊まっています。

この中でこういう話をする絶対言う人がいるのは、嬉野のほうが施設の太かもんねって絶対こういうことを言う人がいらっやいます。

でも、武雄も土日でも空席空室があるところもあれば、平常日空いているところもあるんですよね。

そういうところを埋めていけばこの差なんてすぐ、向こうも同じことをやれば伸びるでしょうけども、やっっていくと思います。

こういう中で、今言いました武雄温泉駅というのは人吉温泉駅(?)と一緒に、温泉という言葉を使った全国で2つしかない駅の一つです。

やっぱり当時は、1975年当時はやっぱり温泉というのを物すごくPRしていました。

私は観光の原点に立ち返って、きょう竿燈のお話いろいろ出たので竿燈の話は私はしませんけども、やっぱり温泉という基本を大事にしていかなきゃいけないと思います。

旅館組合、観光協会、そして市役所、観光会いろいろあります。

温泉というものをどのようにこれからPRしていくのか、どのように活用していくのか、これをまず最初の質問にしたいと思います。

よろしくをお願いします。

議長／小松市長

小松市長／武雄のハブ都市構想、それは大きくいって定住・移住、そしてもう一つは観光だということです。

まさにハブ都市の中で目指す上で非常に大きな位置を占めるのは私は観光だと。

これからの日本全体においてもやはり観光というところに力を入れていく必要があるというふうに思っています。

そういう中で温泉ということですけども、確かに、やっぱり温泉というところは私は大事にしていくべきだと思っています。

東京の方に聞くと、武雄市、図書館が最近が一番上にきますけれども、福岡辺りの方だとやはりまずは温泉というふうに、武雄といえどというふうに言われる方がふえてきていると思います。

温泉は九州にもたくさんあります。

そういう中でどうやってこの武雄温泉の特徴を出すのか。

最近聞いたのは、例えば元湯の建物は、今現存する建物の中で、温泉の建物の中で最古らしいということ最近聞いて、それもちよっと私も知らなかったのが恥ずかしいんですけども、いろんな売りがあると思います。

温泉もターゲットを決めて、そしてほかとの差別化をはかっていく必要があると思っています。

あわせて、そうはいつでも西九州のエリアにお客さんをやっぱり呼び込むというところも必要です。

嬉野とは争うほうの競争であり、そしてときにはともにつくる共創関係。

ここをつくっていきたいと考えています。

議長／18番 牟田議員

牟田議員／今言われたことをぜひ実践していただきたいと思いますし、武雄温泉の温泉、私、新議場になってやっぱり武雄がもともと持っている温泉というやつを最初に質問しようと思っていて、こうやって質問させていただきました。

やっぱり基本に戻る。

やっぱり温泉、例えばじゃらんのページの全国温泉有名、嬉野温泉は50位の中の50位のほうに入っている。

武雄温泉は1ページめくってその次ぐらいにしか入らない。

武雄温泉も先ほど市長がおっしゃいましたように、今まで知らなかったけどこういうことがある、どんどんPRしていただきたい。

そしてこれ、大分前の議会でも言いましたけども、例えば万葉の湯さんというのが今、武雄から泉源を持っていってもらっています。

そういう中で、タンクローリーで持っていつている、それは何で武雄だったのか。

万葉の湯さん、大きい会社です。

それが九州に進出してくるときに九州中の泉源を調べた。

その中で一番よかったのが武雄温泉だったと。

だから何百万もかけてローリーもかけて、今1日2回、3回と往復してくれるだけの、ローリーでやる、それだけの価値があると、武雄の温質、温質じゃないですね、泉質でした。

泉質はいいということで、やっぱりこういうのをどんどんPRしていただきたい。

武雄は幸いにも広報課というのがあります。

広報でどんどん宣伝していく。

武雄は情報発信が得意な市だと思っています。

最近ややそれがかげりが見えたと言われますけれども、私はそういうことはないと思います。

どんどん情報発信をしていって武雄温泉のいい場面をつくっていただきたいし、新幹線が開業したとき、武雄温泉駅、嬉野温泉駅とあったときに武雄温泉駅にも多くの人がおりる、嬉野温泉にも多くの人がおりる、そういうふうな競争、共創、この漢字が違うと市長がおっしゃいましたけども、そういう意味でやっていく、そういうふうな構想をぜひつくっていただきたいし、担当課は大変でしょうけども。

竿燈まつりすばらしかったと思います。

でもあれは代打ですよ、借り物です。

本当の武雄が持っている底力でぜひハブ都市構想の観光の部門の力を発揮していただければと思います。

この数字出していますけども、今宿泊数を言いました。

すみません、モニターをどがんとよかですかね。

やられている間、続けます。

武雄市はさっき 27 万人の宿泊客と言いました。

でも日帰り客のほうは、よかですか、すみません。

日帰り客のほうは武雄市のほうが多いんですよ、嬉野市より多い。

日帰り客が多い、だから日帰り客をもっとふやす。

宿泊客ももちろんそうです。

日帰りもふやしていただきたい、そういうところの戦略もこれから必要になってくると思います。

例えば、これ永野の風穴、これ僕いつも議会で取り上げているのでわかっていらっしゃると思いますし、武雄も大分この永野の風穴、そしてジラカンス桜というのが広がってきました。

県外の人たち、最近では市外県外の人が多いくらいです。

そういう中で永野の風穴、10 年前に知っとうさ人おったですか、10 年前に。

ジラカンス桜、10 年前に知ってらっしゃる方いらっしゃいましたか。

こうやって地域にはお宝が眠っていると思います。

馬場の一本桜もそうだと思います。

ハッテンザクラ(?)というものも***トンネルのところに桜があったなというくらいでも、ああやって売り出せば全国的に来る。

ジラカンス桜は僕が行ったときには大阪から見えられていました。

大阪から女性が 5 人見えられていました。

そういうふうに地域に残っている宝を掘り返し、それは各町が頑張っていただけだと思いますし、その各町がそういうふうな観光資源の掘り起こしをするののお手伝いをぜひしていただきたいと思います。

それがさっき言った 154 万人、月に直すと 13 万人、1 週間に直すと約 2 万人が武雄市内を、

この中の1割2割でも回遊してくれば、そういうところに行ってくれば、プラスになればと思いますけども、各町のお宝の掘り起こし、観光資源の掘り起こしのお手伝いを、まだ私はどういうお手伝いというのははっきりまだまっていますけども、そういうようなところのお手伝いを役所としても、行政としてもやっていただけないものかということで質問したいと思います。

よろしくをお願いします。

議長／小松市長

小松市長／ジラカンス桜にしろ風穴にしろ地域の皆さんが環境整備をして、そして地域の皆さんもPRしていこうと、まずやはり地域の皆さんの熱意、ここに対しては本当に敬意を表したいと思っています。

武雄市内にはほかにも、私もたくさんの地域資源があると思っています。

以前、菅牟田でお話をしたときに、マエヤマ(?) キャンプ場が360度見えるということで、じゃあ星空に一番近いキャンプ場というような話を、私たまたま思いつきで言ったんですけども、そしたらやっぱり区長さん中心に宇宙科学館と組んで星空の教室をやったりというようなことがあって、非常に私はそれはうれしかったなというふうに思っています。

そういった面でやはり、いろいろな視点というところを、やっぱり直接現場に行き気づいたことをどんどん議論をしていくということが必要だと思いますし、市の職員も、ぜひ今まで以上に現場に行き大いに議論をして、そして発掘をし、そしてさっきおっしゃったPR、ここについてもさらに強化してまいりたいと考えております。

議長／18番 牟田議員

牟田議員／今言いましたように各町のお宝の掘り起こしで、市長がおっしゃいました地元の人の熱意と、そういう中で前回配慮していただきました20万円の交付金というのは本当に役立っていると思います。

ひよっとすると、はっきり聞いておりませんが、この風穴にしてもジラカンスでもそういうのを利用してやっていらっしゃるかもしれない。

何するにもちょっとお金はかかるものですから、ぜひそういうものも含めて役所の、何というんですか、御助力、御相談をお願いしたいと思いますし、これが今後につながることでと思っています。

ちなみにすみません、永野の風穴、来月、風穴開きします。

ぜひ皆さんお越しください。

おいしいカレーが待っております。

ごめんなさいね、すみません、各町の掘り起こしのところで、例えば橘町においても、おつぼ山という、私おつぼ山って正直あんまり調べてなかったけど、この前調べたら物すごい遺跡なんですね。

やっぱりそういうのもPRの一つだと思います。

ぜひこれは教育委員会もそうでしょうけどもPRしていただきたいし、武内町で見つかった***製造跡地っていうのもすごいものだと思います。

ぜひそういうのも含めてPR、議長がいらっしゃる山内町も、物すごくこう風光明媚というのと、これここで2回ほど言いましたけども、東京で移住相談を一緒に受けたときに一番多かったのが山内町という言葉を使いました。

2番目若木町だったんですけども、山内町は風光明媚な、何というんですか、黒髪山とか何とかというのが、そういうものをどんどんPRしていけば、もっと観光客が来ると思います。

すみません、ちょっと飛ばして、次、IC改札機。

先ほど上田議員さんが新幹線という言葉言われましたけども、新幹線は当然IC改札機もつくと思います。

ただ、今の現状のJRに、IC改札機がこの武雄市どころか佐賀県、佐賀市からついてないんですかね。

これついてないとですね、ついているのとついてないのでは、来やすさとか、イージーさとか、イージーさっていかんですね、何て表現すればいいのかな、手軽に来れるっていうのが全然違ってきます。

年配の方はわかりません。

例えばスイカならスイカでも通ります。

携帯でも通ります。

福岡でやってるのでも通ります。

このIC改札機、これはJR負担そして県負担があります。

市のほうは要望しかありません。

ぜひこれをどんどん市のほうも要望してください。

必要とあらば有田町も多分協力すると思います。

有田町は陶器市がありますね。

陶器市のときもあの駅、100万人のうち何万人が駅使うか知りませんが、やっぱりこういうのが使われていない現状。

物すごく、多分これがついたら有田町の陶器市でも使われますし、これ逆にこれおりようと思ったらすぐおりられるんで途中下車も気軽にできるんですね。

そういう意味においてもこのIC改札機というのをぜひ導入の要望をしてほしい。

つくるとするのは市では無理ですから、要望してほしいというのがあります。

これはさっき言いましたように、新幹線は来れば必ずつくけど、今現状でもついていただきたい(？)、必要だと思います。

この前の竿燈まつり、本体のお祭りではないですけど、三間坂駅の改札口には、自動販売機を求めるのに国道まで列ができた。

ほかの駅もそうやって列ができた。

これができたら、ばっばっばなんですよ。

だから、そういう意味においても手軽さ、そしてこれからの観光需要を望むならこういうのがぜひ必要になります。

福岡からのお客さんは、こういうのを求めているらしい。

御答弁いかがでしょうか。

議長／小松市長

小松市長／先日の竿燈まつりでも鉄道で来られた方で I C 乗車券で入場された方が武雄温泉駅で、ないのでそこで精算をする列がかなりできていたというふうに聞いています。

やはりこの面は観光、そして移住・定住両面から私は必要だと思っております、これまでもいろいろところで要望はしておりますけれども、先日、知事も含めた GM21 ミーティングで、まさに私のほうからも知事、そしてその場に対して I C 乗車券の利用駅の拡大を要望しました。

私に引き続いて有田の松尾町長さんも同じく要望されました。

知事のほうからは、必要性は認識したと。

自分のほうからも積極的に働きかけていくというような発言がありました。

そこは県、市町一帯となって引き続き強く要望してまいりたいと考えております。

議長／18 番 牟田議員

牟田議員／ありがとうございます。

やっぱりそうやって強いプッシュというのが必要になってきますし、これが実現すればまた大きな一歩だと思います。

ぜひやっていただきたいと思います。

今まで J R の話をしてまいりました。

ハブ都市構想の中で J R の次は道路、高速道路になります。

ハブ都市というのは先ほど市長がおっしゃいました交通も、それと観光というものもあります

けども、高速道路、道路っていうのもあるんですね。

武雄インターと嬉野インター、さてどちらがおりの量が多いでしょう。

はるかに武雄が多いです、はるかに。

はるかに武雄が多いです。

これは交通安全協会か、自動車組合か何かのときに、以前資料見たときにはるかに武雄が多い。

そういう中で今現在武雄インターをおりたときの周り、やっぱりこれも一つの玄関口です。これも一つの玄関口ですので、ぜひこのインター周りの開発、そしてそういうふうな高速道路も一つの顔ですから、先ほど猪村議員さんがおっしゃいました、これはエリア開発の中の一つなんですけども、ぜひこういうところ、インター付近の開発をやっていただきたいというのと、これも一つ意味があって、インターあたりの開発、そして先ほど庭木部長さんも答えられました 498 の部分、きのうかな、言われた 498 もそうなんですけども、俗に言うぐし、東西の線と南北を結ぶ線、南北は 498 になってきます。

これも前議会でも言ってきましたように、西九州道が伊万里までできました。

西九州道が伊万里までできて、そのまた平戸までできます。

平戸も途中開業して、大分開通して、大分早くなりました。

そういう中で縦のラインでもこの武雄に来られるように、ぜひ早目にこの、早くこのインターあたりの開発及び 498 の据えつけをやっていただきたいと思います。

先ほど猪村議員さんも言われたようにいろんな開発をやっていただきたい。

例えば、私が前から言っている体育施設。

これは何か都市公営法に引っかかって今ちょっとストップしているということも聞きますけれども、そういう中でもし例えばそれがクリアできたらこういうところに持ってくるとかいろんな方式があると思います。

ぜひインター周り(?)の開発、玄関口ですから縦串の整備、これをお願いしたいのですがいかがでしょうか。

議長／古賀企画部長

古賀企画部長／私のほうからはインター周辺の開発についてでございますが、先ほども答弁をいたしましたとおり、現在都市計画基礎調査を進めており、その調査、分析結果を踏まえた上で武雄北方インターチェンジ周辺を含めた市全体の土地利用計画を作成する予定でございます。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／国道 498 号北方航空のルートにつきましては、今、杵藤土木***のほうで委託業務がなされています。

ただ民家や事業所等が多く集中する地域でもございますので、ルート選定には時間がかかっているところでございます。

少なくとも今年度中にはルートが決定されると聞いております。

以上でございます。

議長／18 番 牟田議員

牟田議員／国交省に行ったとき、国交省で誰が一番何ていうんですか、偉いんですかじゃなくて、こう、話が通じるんですかって言ったときに前言われていたのが河川局長です。

道路局長じゃないんですか。

河川局長ですと。

何ですかと。

川をきちんと整備しないと道路が引けないと、だから河川が先で道路が後になりますということでは言われました。

これもそうですね。

498 のルートが確定しないとここの開発っていうのはなかなか先に進まない。

ぜひ 498 のルート開発をここでルートのほうをきちんと発表してもらい、その後の開発をやっていただきたいと思います。

ぜひ***をお願いしたいと思います。

ハブ都市構想、いろんなことでこう言っていました。

駅、そして温泉、高速。

例えば温泉にしても駅に足湯つくってもいいじゃないですか。

それからあと新幹線から見えるところに温泉のPRでもいいと思います。

いろんな方法があると思います。

そういう中でぜひやっていただきたいのが、もう一つハブ都市構想の中でやっていただきたいのが(?)シネマコンプレックス、これもういつも言っているんですよね。

やっぱりハブ都市構想の中心になるところで映画館イッチョウ(?)もなかとやと、っていう名目で言っていますけれども、やっぱり物すごく要望多いんですね。

先ほどの選挙を通じて、その前の議会の質問でも物すごく、特に若い人たちからと思っていたら、年配の方も結構言われるんですね。

時間あったら見にいきたかばいと。

今まで佐賀に行きよったばってんが、佐賀まで行かんでよかもんのと、若い人たちだけじゃなくて年配の方からもこんなに言われるとは思いませんでした。

ぜひこの映画館誘致を何とか実現していただきたいんですけども、市長でも担当課でもいいんですけども、どのような進展具合でしょうか。

お伺いしたいと思います。

議長／神宮営業部長

神宮営業部長／シネコン誘致でございますけど、牟田議員の質問を受けて以来、積極的に進めているところでございます。

これにつきましては事業の継続性を含めた可能性をビジネスベースではかり、最終的に企業側が経営判断をされることと思っております。

既に事業所側とは何回となく接触しております。

今後は西九州のハブ都市としての位置づけをさらに高め、シネコン誘致の実現に向けて努めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

議長／小松市長

小松市長／私も若い方だけじゃなくってお年寄りの方からも映画館の話は、私も聞きました。昔は農作業やった後にときどき映画を見に行くのが楽しみだったっていうようなお話を聞きました。

ここについてはやはりさっき答弁ありましたけれど、ビジネスベースっていうところがあります。

だからこそハブ都市の機能、そしてにぎわい、そしてこのまちは可能性があるというところをいろいろな面で示していく必要があると思っております。

誘致とあわせてそのハブ都市、そしていかに事業者の皆さんに可能性を感じてもらえるか、ここに対してもしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

議長／18番 牟田議員

牟田議員／ぜひトップセールスをお願いしたいと思います。

次、これは前載せた、これ何かわかりますか。

味噌カツなんですね。

若楠ポークで味噌カツつくりました。

揚げました。

これ僕がつくったやつですね。

名古屋の味噌ソースをいただいたんで、地元の川口畜産さんをお願いして若楠ポークいただいて、揚げました。

めっちゃうまかったんですね。

やっぱり、食もハブ都市構想には大切なんですよ。

僕本当に思います。

駅が来たら、さっき言いました、ICでこれ、実は続きなんです。

ICで手軽に下りられる、IC改札機で手軽に下りられるっていうのは、手軽に下りて食を食べに来ていただきたいんですよ。

これは何ていうんですか、一応そういうふうな質問のきっかけでここに出したんですけども、これに限らずいろんな食の開発っていうのをしていけばIC改札下りると思います。

武雄温泉駅使っていただけると思います。

これはね、めっちゃ強いと思いますよ。

何々を食べるために下りよう、IC改札がダブルであればさらにだと思えます。

ぜひこういうのは、これは答弁は結構ですので、ハブ都市構想の中にぜひ食の開発っていうやつを入れていただきたいと思って入れました。

ぜひお願いしたいと思います。

僕がつくったみたいに見えないでしょ。

やっぱり、食べてたら本当若楠ポークと味噌カツってあうんですね。

何人か食べ***本当においしいです。

では、ぜひハブ都市構想成功していただいて、西九州の、そして西佐賀の本当のハブというところで頑張っていたいただければと思います。

スター戦略っていう形でされましたけれども、スター戦略の中にはハブ都市構想っていう言葉は入っておりません。

ぜひ、スター戦略の中の、本当は総合計画でやっていただいて、ハブ都市構想の戦略、戦術、そしてその構想計画まできちんとやって、こういう食とかICも含めてやっていただきたいんですけども、ぜひそういうのを成功していただければと思います。

では、次に進みます。

次は周辺部対策でございます。

これは先日、今月の頭に行ったうちの地区のクヤクですね。

クヤク、こういうところを延々と何キロも草刈りして行って、ここすぐ道路です。

水路です。

これを延々と何キロか泥上げしていく。

どこまであるかな。

こういうのをずっとやっています。

ごめんなさい、ちょっと何か***があれなんですけれども、一世帯当たりのその地区の面積を出してみました。

一世帯当たりのその町の面積ですね。

武雄町は一世帯当たり 2,900、朝日町は一世帯当たり 5,300、北方町は 9,800、ちょっと読んでいって申しわけないんですけれども、山内町はそこからどんと上がって、一気に 1 万の壁を超えました。

橘町も広いと言われながら 1,000 万台。

一世帯当たり 1 万 6,000 平米。

*** 2 万 2,000 平米。

やっぱり西、やっぱりって言っちゃ失礼ですよね***。

3 万平米、武内町も 3 万 3,000 平米、一世帯当たりですね。

やっぱりそれだけ一世帯当たりに見えるところが多い。

例えば、うちの若木町一挙に 4 万です。

武雄町の、これ武雄町が 2,900 ですから、十何倍ですか、一世帯当たり***。

これがさっきのこういうのにつながるわけですね。

世帯が少ないんで、面積があるんで国土の保全、市の保全、そういうのはやってかなきゃいけない。

地区で頑張ってるやっています。

もちろんそれは自分たちの土地、自分たちの田畑、自分たちの住まいを守るためでもありませんけれども、こういうような***やり方がだんだん限界になってきています。

やっぱり地区だけではできないっていう部分がやってきています。

それともう一つ、ここに出してはいませんが、地区を保全するためにやっぱり区費っていうのを集めます。

区費っていうのを集めます。

例えば、オイルを買わなきゃいけない***ボクサクを買わなきゃいけない、なので区全体でやる区費っていうのがあります。

これちょっといろんな、何ていうんですか。

各町、各町の、各地区か、地区の施策があるんで、ちょっと書いてはいないんですけれども、これは若木町、うちのまちですね。

若木町は 15 地区あるんですけれども平均すると、区費ですよ、町費とはまた別ですよ。

町の費用とはまた別、その地区、地区で集めているのが 1 万、平均にすると 1 万 7,000 円。

1万7,000円、また町費というのはまた別ですから。

1万7,000円を集めています。

一世帯当たりですね。

じゃあ、豊村議員さんと今日があったんで、豊村議員さんの地元の永島区、永島区は幾らか。永島区は4,000円なんですね、年間。

で、一番多い、あ、山口議員さんと目があいましたので、川良。

川良はちょっと平均すると6,000円ぐらいですね。

だからここでもやっぱり生活の具合が変わってきます。

地区の保全のためにやっぱり我々一生懸命になって何とかやらなきゃいけない。

これも先ほど言いました各地区に20万ずつやっていただいた部分をこういうのに充てるとか本当に助かっています。

ですからこういうのの地区の保全っていうのは、もちろん地区の人間も頑張るけど、これはそろそろ限界を迎えてきているんじゃないかなと思います。

例えば私がクヤクで出て一番長かったのが、8時から出て8時までかかりました。

それでも途中でやめて、次の日にやらなきゃいけない。

何とか頑張ってやっていますけれども、ぜひそういう部分の地域の、何ていうんですか、土地の保全云々という言い方はおかしいですけども、そういうところをぜひまずは調査していただきたい。

何かをやってくださいじゃないです。

ぜひ調査していただきたい。

さっきの数字っていうのも、私が調査依頼をして初めてわかりました。

ぜひそういう調査から、まず何でも調査から始まると思います。

調査をやっていただきたいんですけども、いかがでしょうか。

議長／古賀企画部長

古賀企画部長／各地区の皆様におきましては国道保全のために各作業等をしていただきまして、非常にありがたいと思っているところでございます。

先ほど議員がおっしゃられましたことにつきましては今後、各地域の実情等を十分に調査させていただきますと思っております。

議長／18番 牟田議員

牟田議員／調査をしてからやっぱり実態がわかるんだと思います。

これもさっき繰り返になりますけれども、議会でこういうのを調べてくれていうことで初めてわかった数字です。

数字を見るとやっぱりびっくりするし、ああ、なるほどなっているところも出てくると思います。

ぜひ調査のほうをやって、それを何らかの形で施策につなげていただければと思います。

次、ずっとありましたね。

これさっきのやつですね。

全然違うでしょ。

多分こっちアスファルトか***とかコンクリートがほとんどだと思います。

草、葉っぱ余り生えない。

余りですね。

これはほとんど草生えていると大変だと思います。

続きまして道路のところですよ。

きのう松尾議員さんから 498、若木バイパスの件でいきましたけれども、その続きじゃないですけども、今、若木バイパスは途中までしかできていません。

途中までしかできていませんっていうのは、秋に開業しても途中ですよ。

秋に開業しても途中ですよ。

さらに今降り口からずっと北方インターまで、北方インターってさっき 498 さっき答弁ありました北方インターまで来て初めて武雄地区のうちの町、地元の町のところ、朝日町のところは完成となります。

そして竹串の立のラインの完成となってきます。

今、途中までしかできていないっていうふうに言いましたけれども、途中からおりてきて現道に乗ります。

現道に乗って女山じゃないや、登坂峠に行きます。

登坂峠っていうのは御存じのとおり武雄市内でも事故が一番多いところ。

冬になったら凍結で通行どめが一番多いところでございます。

そういう現道のところをぜひ整備、そして地域の要望を聞いていただきたいと思います。

まず例の一つで、いつもこの何ていうんですか、工業団地から出てきて、***地区、すみません、その 498 の若木の出口のところは***議員さんがきのう言われましたので、こちらのほう行きますけれども、ここの出口のところを信号機を設置をお願いしている、この道路の整備をお願いしているけどなかなかしない。

これ、私実は 5 回目なんですね、この質問は。

一番最初に質問したのは 11 年前ですよ。

まったくできていない。

似たようなここ、ちょっと失礼ですけど、これはアサヒ、何やったっけ、北方です、北方町。リムスからこう登ってきたところで***に行くところですね。

信号機が2年前か、できました。

交通量若木バイパス1日2万台、さらに今度は女山トンネルから出てくる人たちが乗ってくる、そして工業団地の豊田合成が再稼働した。

そういう中でどんどん出てくる***こっちは必要だと思えますよ。

多分***から行く子どもたちが渡るために必要だとは思えます。

でもこうやってどんどん、これも必要だと思えますけれども、私が言っているところも必要だと思えますので、ぜひそういうので強くプッシュしていただきたいと言っても、答弁は頑張りますっていつも言うんですよ。

でも実際行ってるのは担当係長と、よくても担当課長までしか行っていない。

一生懸命やります、プッシュしますと言いながら課長、副市長は一切そういうのは行っていない、本当にやる気があるのか、そこをまずお伺いしたい。

議長／水町総務部長

水町総務部長／議員御指摘の当該地点の信号機設置につきましては武雄警察署に対し平成20年と22年、それから28年の3回にわたって要望書を提出しているところでございます。県の公安委員会や警察署のほうで過去にも現地確認等が行われたとのことでございますけれども、まだ設置には至っておりません。

信号機の設置につきましては毎年公安委員会の選定となりますので、引き続き強く要望してまいりたいと思えます。

牟田議員／部長と副市長さんが行ったかどうかという答弁はいかがなんですか。

***。

議長／水町総務部長

水町総務部長／直接私のほうで出向いて強く要望してまいります。

議長／18番 牟田議員

牟田議員／本当申しわけないですけども、それが姿勢(?)だと思うんですよ。

議会の答弁、例えばここ議会1回出たですかね、ここ。

地元方の要望です。

地元も何回も出しています。

この本会議でさっき言いました5回目ですよ。

今までとまったく同じ取り扱ってというふうな印象を受けたのでお伺いしました。

ぜひ強くプッシュをお願いしたいと思います。

さっき言いました若木バイパスができた後の現道の、それから松尾議員さんがおっしゃいました現道の接点のところ、そして現道に乗っかりますので現道の整備、女山トンネルも旧道との合流点、いろんなところで、例えばきょうも北方バイパスのところでも事故起きたんじゃないですかね、新しいところ。

じゃなかったかな、何かこう、見たんですけど、やっぱりそういうふうな事故があつてからでは遅いので、ぜひ、逆に地域にボールを投げてください。

我々、***議員さん、私がここでこういうんですよっていうものもありますけれども、ぜひ地域、例えば集会のとき赴いてこういうふうになりますけれども、何か要望とか御心配ないでしょうかっていう形でぜひ話を聞いていただいて、それを反映していただければと思います。何度も何度もここで言わんげいかんわけですね。

ぜひよろしくをお願いしたいと思います。

では続きまして、最後教育です。

教育「武雄軍団秋田を駆ける」っていうのは、これちょっと竿燈のこと余り触れませんが、言いながら載せたんですけれども、教科書問題というのは昔から私何度もここで取り上げていました。

歴史教科書、中学校小学校の歴史教科書でゲンが攻めてくるのは兵を派遣したのに日本から行ったときは侵略という言葉を使っている。

日本の教科書なのに孫文を調べなさいって出てくる。

そういう教科書を昔武雄は使っていたので質問して、何ていうんですか、教科書選定委員会の名前を列挙してくれって、その中の議事録を出してくれということで何度も言いつつ、実際***っていうのはそのままなんですけれども、教科書の選定自体は私が見たところまあまあいいんじゃないかっていうふうな感じで特にチェックするところはなかったような気がしますし、もう一つ、例えば公民ですね。

公民の教科書でも、例えば憲法9条っていうのは、憲法改正というのは今物すごく話題になっています。

例えば公民の記述一つでも、公民の教科書に9条がありますので、自衛隊は違憲という意見もあるとか、いっぱい書かれていたら、それを見てた生徒は、違憲かなと、違憲かなという意見も多いのかなと思うわけですね。

それ、いい悪いは別として、その個人個人が9条というのはいろんな思いがありますから、

ただ子どもたちにはきれいなところできちんと教えなきゃいけない、公平な立場ですね。ぜひそういう教科書の部分でやっていただきたいという質問をよくやってまいりました。きょう竿燈の話余りしないと言いながらも、竿燈で上田議員さんが一番聞かれたのが、この次いつ来ると、というのが聞かれたっていうふうに言われていました。

猪村議員さんもそういうふうな話が聞きました。

私がよく聞かれるのは、何で秋田から武雄に来ったというのがよく聞かれました。

今度こうやって武雄市歴史資料館でやられました。

例えば、副読本、さっき答弁されましたね、副読本の話。

猪村議員さんのところで。

答弁されましたよね、副読本の話。

副読本答弁されましたよね。

副読本をぜひローリングしてもらいたい。

さっき言いました自衛隊の問題じゃないですけども、武雄を愛する心をきちんとこういう、武雄はすごかったんだっていうのを、ぜひ副読本でローリングして載せていただければと思います。

当時、ローリングいかんですね。

見直してください。

見直してください。

ありがとうございます。

見直してください。

例えば1回つくったら終わり、1回重版したら終わりじゃなくて、やっぱりそういうところもきちっと変えていく。

例えば今度秋田のほうであつたら、歴史資料館でしたら終わりだよじゃなくて、やっぱりきちんと副読本の中でページをつけていただきたい。

例えば当時武雄藩というのは日本最強の軍隊でした。

軍団でした。

当時、この前、維新博の150周年のときに何とかっていう大学の、すみません、忘れました。教授が言われましたけれども、武雄藩の兵士はヨーロッパの精鋭部隊をも撃破すると、そういう言葉が使われました。

武雄藩が秋田に入ったときには秋田の人々はそのすごさにみんなびっくりされていたぐらいという。

やっぱりそういうのがあれば、やっぱり地元の子どもたち、武雄で育った子どもたちはやっぱり誇りに思いますよね。

その軍隊が強いから云々じゃなくて。

例えばこういう話もあります。

戊辰戦争、この秋田で捕虜になった方が2人いらっしゃるんですね。

捕虜になった方が2人いらっしゃる。

終わってから解放されて帰ってきた。

1人は大楠***の人でもう一人は若木の人だった。

やっぱりそういう話もあるんですね。

当時、秋田の横の庄内藩。

庄内藩というのは東北最強と言われた中の庄内藩でやられた中それを武雄藩はそこから守り抜いたと。

武雄藩が2週間来るのが遅かったら、秋田は全滅していただろう。

そしたら今の我々はいなかっただろうと、そういう話も出ています。

それもそういうところをぜひ副読本にも入れてもらいたいですし、さっき私がお前に言いました、各町のお宝っていうのもいろいろあると。

ジラカンスもあれば***おつぼの山もある、***そういうような各町の、そういうお宝になるだろうというのも、やっぱりそういうのも載せながら、武雄の子どもたちに、やっぱり武雄に自信をつけてほしい。

どこかの国会みたいに日本のこと本当は***とかなというようにあれじゃなくて、やっぱりきちんと武雄の子どもたちの教育とか何とかするときには武雄の子どもたちに武雄というものを誇らしく、そして自信を持てるような教育、教え方をしていただきたいと思います。この副読本、ぜひそういうふうな使い方で行っていただきたいんですけども、いかがでしょうか。

議長／浦郷教育長

浦郷教育長／副読本という言い方で先ほど申したんですが、現在今、子どもたちが3年生以上で使っているのがこの私たちの武雄市。

この中にももちろん、今でもお祀りをさせていただいている前田伸右衛門さんとか、それから松尾静麿さんまでですね。

そういう形でこれまでも載せてきました

先ほどの質問でお答えしましたのは、ちょうど150年でその幕末期に焦点を当てて副読本をつくろうという、これを進めておまして、これで今お話にありましたように、武雄の歴史を振り返り、子どもたちへの自信につながる、誇りを持てるようなそういう副読本を新たに作成しようということでございます。

議長／18番 牟田議員

牟田議員／通告に、やっぱりこういうような武雄の歴史をきちんと子どもたちに伝えていただきたい、そういう中での副読本とかそういうやつをぜひお願いしたいんですけども、これを質問に出しますよと、出しておりました。

ぜひ実現していただきたいことを願ひまして、私の質問を終わりたいと思います。
ありがとうございました。

議長／以上で、18番牟田議員の質問を終了させていただきます。

ここで、議事の都合上、1時20分まで休憩をいたします。

* 休憩中 *

議長／休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を続けます。

次に、14番 宮本議員の質問を許可いたします。

御登壇を求めます。

14番 宮本議員

宮本議員／14番、宮本栄八です。

新庁舎になって初めて一般質問をさせていただきます。

できるだけわかりやすく、スピーディにやっていきたいと思います。

よろしくをお願いします。

まず、項目はいつもの5項目です。

まず最初に、アセットマネジメントの関係です。

まず、これまで樋渡市長さんのときにはところてん方式っていうことで、大型事業目白押しと、どんどん進めさせていくということだったと思います。

それが途中からアセットマネジメントということで、もう総合的に管理するというので、それも2、3年、2、3年とかいわれてもう3年以上たっているんじゃないかなというふうに思うんですけども、まずそういう総合計画を立てますというわけだったわけですね。

それで、しかし新規の建物の分はどうするんですかという疑問がわいて、その統合計画というのを必要じゃないですかというのをちょっと私は言ったんですけども、それについてその明快な答えは今私はちょっともらっていない気がします。

そんな中でどういうふうに進んでいったかと。

アセットマネジメントってということが一つの前進のためのある意味障害的なことでもあったのかなと、阻害要因でもあったのかなと。

そんな中で庁舎とこども図書館がその別途進んでいったわけなんですよ。

あら、そうしたらどうなるというんだと、30%、40年間で減らさない***減らさないって言っているのに逆に総面積はふえているという状態が今の状況なんですよ。

それで、ちょっとこれは私の新聞(?)の中でどういう建物があるかというのを決算書から書き出して市民の方にお知らせしたりというような格好をしているんですけども、結局今の状況は、新体育館については副市長の特命事項、その他は総合管理計画ということになっているんですけども、その後その途中情報というのが全然ないもので、今どういうふうになっているのかわからんし、2年ぐらいだったらいつの時点でこんなものが出ますよと、それから市民の方にお話ししていただきますよと、そういうところがもうちょっと明確になっていないといけないんじゃないかなというふうに思います。

そこでこの2つについて、いつ、どんな内容が出るのかお尋ねしたいと思います。

議長／水町総務部長

水町総務部長／アセットマネジメントの個別計画についてでございますけれども、平成31年度末を目標に個別計画の策定を行うことにしております。

現在各施設の所管部署におきます、所管部署によります施設別の評価を実施しておりまして、これを取りまとめて、それから関係団体、関係組織とも協議の上、具体的な整備方針などその対応策と時期を調整してまいりたいと思います。

31年度末を目途に完成をさせ、その後の公表という計画でおります。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／そしたら、その31年度末からその文化会館についても考えなくてはいけないということになるんですかね。

その一方ですよ、その新体育館、これについてはそれはいつになるんですか。

議長／水町総務部長

水町総務部長／体育館につきましては大型施設でございます、別立てで特別なプロジェクトチームをつくって、今検討を重ねているところでございます。

完成の時期等についてはまだ未定でございます。

議長／14 番 宮本議員

宮本議員／そしたらその、結局ですよ、別立てなわけでしょ。

だからその面積というのは結局ですよ、まあその面積っていうのは今後、今はずっとふえる一方ですよ、結局庁舎も新庁舎できたけど、前の庁舎を潰してないので面積はふえていますよね。

もともと新庁舎の分は含めていないところで40%は必要なわけなんですよ。

そしたら、この新体育館についてもその減らすという、面積を減らすことになってからできるんですか。

議長／水町総務部長

水町総務部長／面積につきましては総合調整でございますので、この新庁舎ができて、また旧庁舎が解体される、そして体育館ができる、総合的な全体的の面積の中で考えていく必要があると予定しております。

議長／14 番 宮本議員

宮本議員／そしたら、お尋ねします。

そしたらもう私が最初に疑問に思っている、この40年間、30%は今の建物から算出しているんですよ。

新しい建物は建てるんでしょ。

建てるとしたらどういうふうになるんですか、その30%は。

議長／水町総務部長

水町総務部長／保有する全体面積を30%削減するというような目標を立てておりますので、新しく建てたものはプラスして、それから削減すべきものはこれから個別計画を策定する上で調整をしていくということでございます。

議長／14 番 宮本議員

宮本議員／わかりました。

そしたら、今の単に8%減らすとか0.8%減らすじゃなくて、めりはりをつけるということですね。

そしたら一方ですね、こちらの住宅のほうも今学校全部建てかえてますので、***建てかえていますので、今度の主なその面積を占めるのは住宅になるんですよ。

だから住宅についても方針を決めてスタートせんといかんと。

特に小原・高野は戸数も多いですよ、大野住宅と違って。

だから今度の建設についても減らすようにしてるんですかね。

議長／高倉まちづくり部理事

高倉まちづくり部理事／今度つくりなおします小原・高野の統合住宅については現在の戸数から減少するように考えております。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／そしたら小原・高野については、一応そのハードルを越えていくってことになるのかなと思いますけども、その住宅全体がざっと計算すれば60億ぐらいになるとですよ。

一世帯あたり1200万とか1500万ほどがかかるで(?)、戸数を計算するとですね。

すると、私は大きくももとのストック計画、前回のストック計画、31年までの計画にはその民間活力とか、前みたいに住宅供給が戦後の住宅供給じゃないので、セーフティーネットだけに限るというふうなことで、この30、50、60億を30億ぐらいにできんかなと思ったりもしてるわけですね。

そしたらその分、別の建物、建てるということになるんですけども、この住宅契約についてはどうお考えかお聞きします。

議長／高倉まちづくり部理事

高倉まちづくり部理事／今後の住宅の建てかえ方の考え方ですが、平成29年3月に策定されました、武雄市公共施設等総合管理計画に住宅整備について記載をしております。

耐用年数を超える住宅は、基本的に用土廃止か建てかえをゼロベースで検討し、適正な戸数の維持確保を目指すということになっております。

今後はこの基本方針に添って進めてまいりたいと考えております。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／一応ゼロベースで考えるっちゅうことですね、よろしくお願いします。

そういうことで、何ですかね、民間借り上げとかそういうとでも、結局今度建てれば鉄筋ですから70年先までの管理になるわけなんですよね。

大野の場合には木造ですので25年とか、今度の大野は25年ぐらいでいいとですけど、今度建てかえれば70年ぐらい、60年、70年していかにといかにもんで、その辺よく考えていただきたいと思います。

そして、例えばこの赤尾（？）っていうのは県営の武雄住宅と一緒にすけども、以前も言いましたけども、武雄住宅の県営のほうは用土廃止になりますよね。

だからそういうのもありますし、逆にその土地を買って広くするという方法もあるかもしれませんが、ゼロベースで考えるということですのでよろしくお願いします。

続いて、庁舎の管理等です。

庁舎がつくられると計画されるときから、担当の職員さんには、それ以前かもしれんけど、今度新しくつくったらその時点でそういうエネルギーとか電話とか、そういうの入札をしていかにといかにということで、まず建てるまでは忙しいのでそれは言いませんからということでしたんですけども、こういうふうに建てたと。

そして今、アバンセのホームページを、知り合いが何ですかね、講演会開くということで見てたら、いきなり素人の人にも電気入札のことがぱっと出てきたわけですね。

こんなに一般の人にも見えるような形で公募してあるのかなってちょっと思ったわけなんですよね。

それで、また一方この間議員さんのお話にもあったけど、地域エネルギー会社ですね、みやま市みたいな、地域エネルギー会社、それは自分たちで太陽光つくると同時に、電気の卸売りをする会社をつくってそこで儲かったお金を町民のために分配するとはいかんですけども、それで奉仕するというような格好なんです。

だから、逆に言えば武雄市がその地域エネルギー会社じゃないですけども、そこで入札で浮いたお金を高齢者福祉とかですよ、そういうのに使えば、同じことじゃないかなというふうに思うんですけども、この辺の電気とか電話とか、インターネットもあるかもしれませんが、その辺の入札についての武雄市の取り組みをお聞きします。

議長／水町総務部長

水町総務部長／電気、電話の料金の関係で入札をしてみてもというふうな御提案だと思います。

新庁舎の電気につきましては、現在九州電力さんの契約でございますけれども、これは入札を行ったものではございません。

新電力会社を含めた入札につきましては、新庁舎の使用実績がありませんので、条件が示せませんので見積もりが難しいといった状況であります。

最低でもこの1年の使用実績を見てから入札を検討していきたいと思えます。

それから、電話回線につきましては旧庁舎から新庁舎への回線の移設切りかえをスムーズに行う必要があったこと、これに加えまして電気料金の見積もりにおいても、一番安かった西日本電信電話株式会社と継続的に契約を結んだところでございます(？)。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／インターネットのプロバイダ関係も強いて言えば、相当の金額あるんでしょ。そこをちょっと私よくわからないんですけど、そこについてはどうですか。

議長／水町総務部長

水町総務部長／先ほど私、電話料を間違えまして、電気料と発言しましたが電話回線料の間違いでございました。

インターネット料につきましては、この電話回線とあわせてですね、考えてまいりたいと思えます。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／よろしくお願ひします。

それでその浮いたお金で***返さないで自分にいかすような形で使ってもらえれば、地域電気会社をつくったも同然だからですね、よろしくお願ひします。

次はIT化です。

ちょっと出ておりましたけども、ワンストップになるっていうことで、すごいなど。

すごいというか当然なのかもしれませんけども、それで何か職員さんが次々にやってくるということで、あら、と。

そしたらその職員さんがぱっとかかったら(？)、また出ていかんといかんし、いい思っでよくないようで、ちょっとよくわからんなどいうことで。

前黒岩議員さんが言われていたですよね、三次元検索やったですかね、その一点のところをどっちからでも元黒岩議員さんが言っておられた、三次元検索というんですかね、1つのと

ころをどっちからでも見てすべてのあれができるような自治体というようなことを言われて、そのことを聞いたときには、ちょっとまだあれかなというふうに思っていたんですけども、そういうワンストップになってくればそういうことなのかなと。

子育てのほうからと、入居手続きとか、ずっとこうなるのかなというふうに思うんですけども、そこの人海戦術を IT 化にできんかなと。

それで、もっともっとよく包んで言えば、転勤してきた人はまず水道をつけると言うですもんね。

しばらくしてから転入手続きをすると。

極端なことを言えば、水道の開栓に行った方がすべての処理をできるという時代も来るんじゃないかなというふうに思ったりもしているんですけども、まずはそのせっかく IT 化でワンストップはできないものかお尋ねします。

議長／岩瀬福祉部長

岩瀬福祉部長／ワンストップの IT 化をというお話でしたが、まずワンストップ行政ということでは、転入転出並びに転居、それと出生、死亡、婚姻、離婚とか、そういう部分のライフイベントに関わる部分がワンストップという形で行っております。

従前は転入された方が、各課をまわって手続きをされていたと。

これを転入された方が 1 カ所に座っておくだけで、周りの（？）担当者が出向いてきて、専門的な知識で手続きをするということで、ワンストップ化ということで行っております**
*。

その中で IT 化と言われておりますが、現在、専門的ないろいろ情報等がありますのでそこは人海戦術で本人が動かなくていいような形での、まずお客様の利便性を第一に考えた対応を今のところやっているところでございます。

議長／14 番 宮本議員

宮本議員／今やっているというのはわかっています（？）。

だから今後、それを人海戦術じゃなくてですよ、IT でしたほうがいいんじゃないですかというふうに、提案しているんですけども、今のところ、今からということと理解して、それで私もどっちかって言えば、その武雄のほうからずっとして行って勉強して行って、最初インターネットを見て勉強すればよかったんですけども、最初は、あら、人がぞろぞろやってきてって、いや、ちょっと近代的じゃないかなと思ったところからスタートしまして、ずっと勉強しているわけなんですよ。

そしたら、どこの自治体も国の IT 自治体計画みたいなやつをずっと下に受けていってですよ、各自治体でその IT 化といのを図られているということがわかったわけなんです。

そこでよそのやつを見ると、証明書発行とか、あと市民から意見を聞くのもネットというか IT、そして、牟田議員がよく言われるその地域の後続情報格差みたいなやつも、ここで処理してやって、観光も災害も教育も、その庁舎の夜間対応も申請も施設の予約も、そういうふうなことに進めていってやるということで、その事例的にはこの ICT 活用による便利な市役所推進計画は佐世保市なんですけども、ここにいっぱいいろんなことが書いてあります。

総合型 GIS、公開型 GIS って、その意味すら分からないんですけども、いろんなことをしますよと。

そして、このワンストップサービスというのもそこに書いてあって、1カ所でせんばいかんと。

これも IT でって書いてありますか、IT ですよというような格好になっておるわけなんですよ。

ですので、今後、まずここはなので IT 計画というのをまず立ててやって、それで個別、これはできます、これはまだ採算がありません、これはどうですという理由をずっと書いてあるんですよ、進み具合のところですね。

だから、採算があわん時期はあると思うんですよ。

今はコンビニでの発行業務、採算あうのか、あわんのか、してる自治体もありますよと。

ここでもそういうところも今の考え方を書いてありますよね。

だから、そんな格好でまずは IT 計画というのを武雄市でも進めているのか進めていないのか、その辺ちょっとお尋ねします。

議長／古賀企画部長

古賀企画部長／IT の利活用についてでございますが、広報課において、機器のシステムの経年変化による更新、また法改正等、情勢の対応ほか、また新たなシステム導入に関しての計画については必要であるというふうに考えておまして、現在既に調整を行っているところでございます。

ただ、この IT の利活用につきましても、財政状況等も厳しくなる情勢の中で、システム導入につきましても相応の経費等も必要となります。

適切なコスト計画を踏まえた上で、市民サービスの向上や業務改善等につながるものでなければならぬというふうに考えております。

議長／14 番 宮本議員

宮本議員／武雄市でも考えてあるということで、先ほど言いましたように、ここの佐世保のほうでも、これは今採算にあいます、これは何ですってということが書いてありますので、すべてIT化すれば安くなるというふうにはならない、そういう時期、時期っていうのがあると思いますので、まずそれを立てて次はこれに取り組んでみよう、次はこれに取り組んでみようというような格好でやっていただけたらっていうように思います。

よろしくをお願いします。

そして、その手続きっていうんですかね、今度は今、山内、北方には窓口的なものは残っていると思いますけども、それもいずれ廃止するかもしれないということですので、それまでにはコンビニとか何とかでできるような形でできるようにしていただきたいなと思います。

次、市内の道路整備です。

大体、道路整備を主に大きく分けると、国の補助金を半分もらってするタイプと、単独でするタイプっていうふうに2種類なると思います。

大きな事業は移転補償費とか何とかありますので、自分の単独でできんと。

そして補助金を利用してするというふうな格好ですね。

大きな道路ということになります、メインの道路ということになります。

旧武雄市のときには2本ぐらいは交代交代というんですかね、計画とか実行とかいう形でして、新市になってから3本ぐらい立ててるのかなというふうに思うんですけども、今、新武雄病院の横から花島のほうに向かう、小楠永島線、そして今、ニトリさんたちの裏のところの道路ですね、それが梶原楠町線っていうんですけども、そこがやられております。

そこについてはどっちかっていえば、今開発したやつの後始末って言ったらいかんですけども、ニトリさんたちができて裏から出る、裏から出ると歩道もないといけん、いけんとなればぱっとつくらんといかん、大きな道路だから補助金タイプになると、こういうふうな感じで、ずっと押されて、押されてっちゅうことになっていきますけども、私としてはもっと武雄の将来を見据えた道路っていうのもセンコウしてやっついていかんといかんじゃないかなというふうに考えております。

それで、この2つについてですね、大体3本あったと思いますので、あと一本はどういうふうなお考えなのかお聞きします。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／現段階におきましては、交付金を活用した主要道路整備事業の計画はございません。

宮本議員／ないってことでするので、ぜひとも、補助金をもらってつくったほうがいいわけなんですよね、極端に言えばですね。

その自分の出すほうが今、合併特例債がないので、ちょっとこっちを用意するのも大変かなというのがありますけども、でも単独でするよりも、もうはるかにいいわけでありまして、それをしてほしいなというふうに思っています。

それで、一つの私の考えとしては、新幹線の複線化というのがあって、今は高架で、ある程度踏切を越えていますけども、今度新幹線で複線化すると踏切が改良できるというのはもう何十年に1回というか100年に1回ぐらいの線路のいじくりというか、改造になると思います。

その辺で、そこを捉えて計画をしていかんといかんじゃないかなというふうに考えております。

そこで、どこをどうだというふうに、私の提案としては、今ここから小楠長島線というのをこの浄化センターのそばにつくっていて、橋ができれば一部開通させますというふうなことなんですよね。

それと梶原楠町線というのは、ここでここに水路のあったやつを武雄市と開発でここを廃止して、こっちを道路を大きくするという、いい考えなんですよ、はっきり言ってですねすばらしいと思います。

それで新たにもう一本入れとかんと、この辺がこれで手詰まりになるんじゃないかなというふうに思いますし、今こっちにも商業施設があるので、この行き来が結構ふえております。ここは信号機は六田の信号機というか、信号機はたくさん国道つくれませんので、信号機というか交差点つくれませんので、六田の交差点というのがあって、皆さんがくにくに曲がって行っております。

この自動車学校のほうは、これまで片側通行だったんですけども、いま両方通行できますので結構利用は多いです、ここになるんですけども。

以前も言いましたけどこの先に旧市道があるんですよ。

でもこれがあまり活用されてないです、実際言って。

ここの出口が狭くなっているっていうのがありますし、こっちからも思うように来れないということがありまして、活用されていないので、1級の線というのはあまりないんですよ。だから、それを有効に活用するためには、ここの沖永の踏切のところを、この新幹線がらみのときに広くして、向こう側の道路をこの1級道路のほうにつなげていったらどうなのかなっていうふうに。

向こうが1級道路でしたよね、こっちを、ここがどういうふうになっていますか、これは六

田のところから来るんですけども、これは***で見ますと、ここが極端に狭くなってるんですね。

だからこの改造と、ここも狭いですので、この1級道路を生かすためにはこっちを、こうつなげていかないといけないんじゃないかなというように思います。

ほかに方法があったらいいんですけども、私はこの辺に1本いるだろうというけど、この交差点は自由につくれない。

そしたら、六田の交差点を利用するしかない。

こっちの出口の踏切は今ここしかない。

新たにこっちに踏切をつくってもいいですけども。

議長／宮本議員、この、***。

宮本議員／すみません、早く言ってください。

議長／あそのこのって、そこが全然場所がわからないので、***。

宮本議員／わかりました。

六田の踏切のところから北に上って、自動車学校のところに通るような格好が今ちょっとできる可能性があるところかなと思うんですけども、この東部にもう一本道路を作るという考えについて、どうお考えかをお聞きします。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／モニターが小さすぎまして、どこを示されているか、すみません、よくわかりませんでしたけど、私の解釈で、自動車学校横の踏切のお話をされたかと思います。将来的には複線化がなされるかと思いますが、現時点では複線化は高橋駅から大町間というふうに聞いておりますので、将来複線化のあったときには、道路の幅員にあわせて踏切の改良は行っていきたいというふうに考えております。

また新たな六田から真っ直ぐ抜ける道ちゅうことでも言われたかと思いますが、それにつきましては、今のところ全く考えはございません。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／そしたら私はこっちに一本必要かと思いますが、東部のほうにもう1本必要か

と思いますけども、そしたら、この踏切についてはもう解消できないっっちゃうことですかね。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／先ほど申しましたとおり、今写真写っています、道路につきましては2車線***往来できるようになっておりますので、踏切だけが狭くなっております。

武雄市の考えといたしましては、今の道路付近までは踏切も広げていきたいっっちゃうことで、今後機構と相談してまいりたいっっちゃうふうに思っております。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／この付近まで広げて、考えを持っているっっちゃうことで、それで私はまずは十分なんですけども。

その部分とこの行き来ですね、南北の行き来をもうちょっとしたら皆さん便利じゃないかなっっちゃうふうに思いますけど、それはまた皆さん、執行部のほうで考えていただいて、地域の要望を聞いた中でやっていただきたいと思います。

それにもまして、もう1本くらいは将来を目指した計画ですかね、そういうのもあっていいんじゃないかなと思います。

それはこの踏切じゃなくて、架け橋の、北方の架け橋の踏切の辺でもあれかなと思うんですけど、そういう部分でその踏切をこの際再点検して、そこに道路が必要なのか、必要じゃないのかをきちっと話していただいたらいいかなっっちゃうふうに私は思います。

よろしくをお願いします。

続きまして、それで、国、県のことについてはバイパスが猪村さんのところで答えて、5000万(?) だったですかね、ついて調査費と計画費がついてるっっちゃうことで、498号線については、ちょっとわかる範囲で教えてもらえますか。

議長／庭木まちづくり部長

庭木まちづくり部長／午前中にも申しましたとおり、今年中に北方の一部の区間におきましてルート発表がなされると思います。

その後、平成29年からの計画でございますので、5年間、平成34年を目途に完了に向けて杵藤土木事務所のほうで事業されるかというふうに聞いております。

議長／14 番 宮本議員

宮本議員／34 年ぐらいにはできるっちゅうことですね、わかりました。

そしたら、これは飛ばしてですね。

競輪場についてです。

競輪場についてはいろいろ言ってきましたけども、あとはメインスタンドの建てかえ、そして次が隣接する部分じゃないですけど、付随する部分（？）として宿舍の建てかえ、駐車場の建てかえっちゅうのがあります。

それについても、前の部長ですかね、理事がある程度つくるような答えをされていたと思います。

そこで、武雄のほうも早くしたほうが良いと思うわけですね。

別に、これをずらしていいメリットにも何でもないですし、ここに書いてある別府のほうでは両方同時にされていると思います。

それで5億円ぐらにかかっている、別府で5億円ぐらにかかっているんですけども、10年で払えば5000万程度っちゅうことで、ほんとの耐用年数からすればもっと2500万ずつ払ってもいいと思うんですけども、だんだんだんだんどこでも近代化してナイター化してくるので、採算がずっと10年後はわかりませんので、できるだけ早く返したらいいかなっちゅうふうに思います。

そこで、早く建てかえてほしいということと、最初は改築でもいいんじゃないかなというふうに思いました。

内装を変えてですね。

しかし、いろいろ考えていくと、小田原競輪みたいにスポーツ合宿にも使えばですよ、結局以前から武雄の運動施設と合宿ということを言われてましたので、スポーツ合宿に利用すればいいかなと。

この4000円、2000円というのは、一般の方2000円で市町っていうんですかね、こっちの自治体の方は2000円っちゅうことになるんですけども。

そういう形で現在がこういう建物なんです。

そして、一部ジュウニレツ（？）になったとき、こっちに平屋が建って増築されています。中はこういう形で4人が1部屋になって畳が敷いてあるんですけども、畳も今赤くなっているということで、畳がえ等あれでもいいかなと思うんですけども、将来的にまた合宿とか考えればつくりかえた方がいいかなと。

自転車検査場でここで検査します。

その上に、スタート前にその大広間に待機するというふうな格好になっておりますので、競輪課に言ってとっておりますので。

議長／静かに。

宮本議員／そういう意味で、別府競輪のほうはこういう建物です。

新しい28年の。

こっちは小田原のサンサンヒルズってところの合宿をしているところなんですけども、私とすれば早急につくりかえてもいいんじゃないかなと思いますけども、競輪課の計画はどうでしょうか。

議長／松尾営業部理事

松尾営業部理事／お答えいたします。

戦士宿舎、車検場等の改修に係る計画ということでございますけれど、現在基金を昨年末、29年の3月、28年の3月ですね基金の設置をいただいております積み立てをしております。そういうことで、目標としては10億ということでおります。

計画的には、早ければ、平成31年度で基本計画等をしていきたいというふうなことで思っております。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／できるだけ早くしたほうがいいかなっちゅうふうに思います。

そして改造にするのか、私が言ってますような、そのサンサンヒルズみたいな合宿にするのか、そこは私提案してるんですけども、それはもうそちらのほうとか、選手会とかと話し合われて、早くしたほうがいいんじゃないかなというふうに思います。

そして、次はお客様サービスの件です。

以前から大型モニター必要じゃないですかっちゅうのは、ずっと言っていました。

しかし、そのときも立てかえるのが優先で、モニターは後でもどうにかまだ耐用年数もあるのでということで言われたので、そこはそこでもう言わずにありました。

そこで、今映画館がネットフリックスと言って配信ですたいね。

そういうところで、結局小さいところつぶれていってるということで、今の映画館は、映像が正面だけではなくて横にも出てくるとかですね、音声が高レゾですかね、そういうのになって、そういうふうになるところはそれなりのグレードアップをせんといかんっちゅうふうになってきているわけなんですよ。

それで今度は、サッカーのコロンビア戦を庁舎のほうでやられると思いますけども、庁舎の

ほうは 55 型ぐらいが 10 台あるんですね。

だから物すごいでかいですよ。

でも、武雄の競輪場は 80 型なんですね。

普通この競輪場とかボートの場合行けば、大体この壁にある程度いっぱいいっぱいなモニターがついています。

こんな上だけについているようなところは、あんまりありません。

だから、もうちょっとでかいやつに変えてもいいんじゃないかなど。

結局普通の、オッズを見るやつは 40 とか 50 ですもんね。

40 って言えば、テレビで映れるかどうか知りませんが、あの画面の白い部分ぐらいが 40 インチですよ。

それが、きゅう舎、きゅう舎で縦横に数字がわーって並ぶわけなんですよ。

だから結構見にくいです。

そして、久留米なんかもう建物は古いですけども、モニターは 100 ぐらいはあります。

そういうこともあってですよ、もうちょっとお客さんを集めるためには、最低 52 ぐらいだったら家のテレビとほとんど変わらなんですよもんね、それを近くで見れるわけなんですよ。

でもこの 52 型を結局 17、8メートル後ろから見わけなんですよ、最低家で見るとより大きなね、この 60 型ぐらいは必要じゃないかなというふうに思うんですけども、これについての考えをお聞きます。

議長／松尾営業部理事

松尾営業部理事／メインスタンド、ステージの上には 2 台の大型モニターを設置しております。

この大型モニターは 80 型でございます、横 180.9 センチ、縦 104.9 センチの大きさの液晶モニターでございます。

ステージのほか、ステージの周辺につきまして、お客様に御満足いただける情報を提供するために、オッズ用のモニター 40 型ですけど 4 台、それに実況用のモニターとして 40 型 1 台、それに開催場の表示画面ということで 24 型 1 台ということで、以上 6 台をワンセットという形で設置をして情報提供いたしております。

限られたスペースに設置している状況でございますので、現在のところさらなる大型化は考えておりません。

議長／14 番 宮本議員

宮本議員／いやスペースがないって、スペースあるじゃないですかここに、***。
スペースがないっちゃうのは、おかしくないですかね。
結局、武雄の市役所のほうは50型が10台連なって500インチかなるわけでしょ。
だから本来、以前はサッカーのパブリックビューイング競輪場でやってたですよ。
でも今度、市役所のほうがよく見えるっちゃうわけなんですよ。
もうちょっとそこは考えていただかないと、商売人から考えると何で60万ぐらいですかね今、
80型ぐらいだったらあそこに売ってあるですよ、ベスト電器にも展示してありますよね。
100型ぐらいまでであると思うんですけども。
だからそこをけちって、置けない、場所がないっていうことですけど、いや置けますよ、は
っきり言って。
こんなところもありますし、ここの間もあと1台分っていうか、半分分ぐらい空いてますよ
ね。
だから、スペースがないからっていうことについてちょっと納得できんですけど、もう一度
いいですかね。
ないですかね。

議長／松尾営業部理事

松尾営業部理事／お答えいたします。
限られたスペースということで思っております。
そういう状況で設置をいたしております。
またメインスタンド、そして走路等のリニューアルということでしましてから、まだ2年も
たたないという状況でもございます。
そういうふうなことから、今後またいろんな競輪の情報の提供のやり方も、タブレットとい
うふうなものに移っていくというふうなお話もある状況でございまして、こういうふうな今
後の動向等も見て、考えさせていただきたいというふうに思います。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／だからこれを捨てなくていいんですよ。
これを横つつらにつけて、ここに新たにつくればいいって、それこそオッズパークさんって
いうそういうサイネージを提供しますとか何とか言われてるわけでしょ。
それで、オッズパークさんをKドリームスじゃなくて、Kドリームスは楽天ポイントあげま
すよと。

だからこっちのオズパークさんのほうは、サイネージとかそういうのをこっちはあげますよって、そういうことでそっちを選んでいるわけなんですよ、サイネージ絡みで選んでるわけなんですよ。

だからちょっとぜひとも、何ですかね、お客さんにアンケートか何かとってもらってですよ、ニーズを自分たちで考えるんじゃなくて、ニーズをとらえてやっていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

それで次は、傘の貸し出しです。

これは傘の貸し出しのステッカーが 250 円で売っていますよっっちゃうのは宣伝で、もう一つは何ですかね、自動販売機にみんなのレンタルアンブレラって貸すのもありますと。

自動販売機が武雄市のところにもありますんで、そういうのもどうですかっっちゃうことですけども、何でこれを言うかという、結局第一駐車場までしか屋根がないわけなんですよ。でも、第一駐車場は公園になってもう第一駐車場ないので、そこから歩いていかんといかんわけですよ。

そしたら、普通コンビニで傘指してコンビニ入る人はあんまりいないですよ。

走って小走りで走る距離は約 10 メートルくらいが、傘を差さんで小走りに走る大体のラインなのかなと。

しかし、ここまで行くためには 30 メートルも 40 メートルもあるわけなんですよ。

それで、傘の貸し出しがでんかなということを考えています。

そして、こっちの自転車貸し出しの日が雨の日休みだから、その従業員さんにその辺の傘のセッティング、回収なんかをしていただいたら、公園の管理のお休みのときにできるんじゃないかなというふうに思うわけ何ですけども。

またその後ずっと調べてると、どっかの競輪場でも傘の貸し出しというのあってるみたいです。

だから私が思いついたっちゃうよりも、意外とよくあるサービスっていうことだと思うんですけども、武雄のほうも、傘の貸し出しをしたらどうかというふうに思いますけど、そして結構 4 時ぐらいが夕立降るんですよ、はっきり言って。

新聞を頭にして、たくさん人がずっと下っていくわけなんですよ。

だから、傘の貸し出しについて実施していただきたいですけども、御意見をお聞きします。

議長／松尾営業部理事

松尾営業部理事／傘の貸し出し等の準備につきましては、人員配置等も出てまいりますので、具体的な方法について検討をしていきたいというふうに思います。

議長／14 番 宮本議員

宮本議員／傘を盗まれるとか、持って帰られるという心配も確かに私自身はあるんですけども、それも武雄競輪とこう書いてあったり、地元企業さんから広告入りの傘だったら、そういうふうには盗まれる率も少ないし、宣伝として2、300 円の傘だったらいいのかなっちゅうふうに思いますし、よろしくをお願いします。

続いて、教育子育てです。

官民一体型学校の今後についてです。

一応 30 年の 10 月、ことしの 10 月に武雄小学校、32 年の 4 月に御船小、今のところは朝自習の時間を利用したモジュール授業っちゅうことになっておりますね。

しかし今後は、英語の必修化とかプログラミングの必修化とか出てくれば、時間が厳しくなっていくと思います。

そういう時間が厳しくなる部分もあります。

そいで今後、官民一体っちゅうか、私はもう官と民が一体になって、教室に民間の人が入って授業するのかなって思ってたわけですよ。

今ところは単に、朝自習の時間に地域の人が丸つけに来て、そこの指導をされるっていう程度なわけで、そこまでびっくりすることはないかなっちゅうふうに思うんですけども、今後官民一体となっていけば今後どういうふうに展開していったって、以前は事業のほうも民間ノウハウを生かしますとか書いてあったんですけども、ここにノウハウ、普通の教科書の授業中にも、花まる学習会が何ですかね、養ってきたですかね、ノウハウを大胆に生かし事業を行いますってこう書いてあるんですけども、今後どういうふうになっていくのかについてお聞きします。

議長／浦郷教育長

浦郷教育長／びっくりするほどのことないと言うことなんです、実はびっくりしているんです。

恐らく、全国朝の時間にこれだけ入ってもらっているようなところはないと思うんですね。

花まる***は、大学生のアルバイトさんが入ってたわけで。

そのアルバイトさんが、武雄の場合はそうはいらっしゃらない。

そのときに地域の人が入ってもらったということは、恐ろしい成果になっているわけで、区長さん方には大変御苦勞をおかけしたわけですけども、昨年度で約 8000 名を超える方、実はある会合で1 万人と言ってちょっと集計ミスで、ここで修正してるんですが、8000 名を超える方が6 校で入ってもらっている。

宮本議員／いや、今後のこと言うて、今後のこと。

浦郷教育長／花まるの成果だけとは言いませんけれども、この前のように生徒、子どもたちの落ち着ける家庭（？）があるわけで。

そういうことで、今おっしゃいましたようにいろんなプログラミングであったり、外国語であったり、いろんな学習の必要性も当然出てきておりますけれども、学校でもいろんな工夫をしながらやっております。

これについての研究をしている学校もございます。

そういうことで、今後も今年度 10 月の武雄小学校、22 年（？）4 月の御船が丘小学校***で進めていきたいというふうに思っています。

宮本議員／その後のことで***。

議長／14 番 宮本議員

宮本議員／わかりました、答えられんちゅうことですね。

続いていきます。

次は、教育子育てについてです。

時間がないのですいません。

今、保育所の保母さんの確保ということが言われています。

しかしその前に、今はとりあえず答弁にもありましたように、定員割れ、定員ちゅうか不足しているところはありません。

それで、一応保育の待機者ゼロです。

だから、今形的には一番いい状態になってるんですけども、隠れ待機者が存在しているちゅう話なんですよ。

そういうのはどういうものかっていうと、ほかのところに行とって、地元のほうに途中から来たいときにもう来れんかもしれんと、だから我慢しとくと。

地元が空くまでずっと我慢しとくとか、まだ働きたいけど預けられないから働けないと、こう行ったり来たりのことがあるわけですよ。

預けないから働けない、働けないから預けない。

そういう部分があるわけなんですよ。

それについて解消というんですか、私は保育所の定員というのを、そこに行きたいというのがあれば定員拡大をすべきだちゅうことで解決したいと思うんですけども、武雄市のほ

うでは、隠れ待機者に対してどういうふうなことをして、それをなくしていこうって考えてあるのかお聞きします。

議長／松尾こども教育部長

松尾こども教育部長／先ほど、隠れ待機者ということですけど、潜在待機児童の方たちですね。

希望の園を希望された場合、その希望する園に行けないと。

そのために、例えば申請を取り下げたり、保護者の方が育児休業を延期されたりというようなケースが実際ございます。

その分の対応策といたしましては、まず何度も言ってますけれども、保育士さんの数を確保して、そこの受け入れ可能な数をふやしていくということが先決になってくるんじゃないかなというふうに考えています。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／今でも定員はいっぱいなわけでしょ。

だから、今以上には入れられんわけでしょ。

保育士さんを確保しても、定員をふやさんと。

違うんですか。

議長／松尾こども教育部長

松尾こども教育部長／実際に定員割れに至っていないところもあります。

ですから、そういったところは保育士さんの数をもう少しふやせば、受け入れが可能というところがございますので、まずは保育士さんの確保が先決というふうに考えております。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／聞くとところによると、年間定員割れしとるところはないっていうふうに、ちょっと私はお聞きしました。

4月の時点はなくても、年末に入ってないっちゃうことはないっていうことで、私の認識としてはほぼ今の定員分は人はいると。

そして、まだ入りたい人がいるということは、定員が以前は朝日の第1と第2を合体すると

きに将来少子化になるからちゅうてから、だいぶ減らしましたよね。

ばんと減らしました。

でも、今少子化になっているけど預ける人がふえてるっていうわけですよね。

だから以前に減らしたのは、その少子化で減らしたけど、今度共稼ぎでふえてるちゅうことで前の設定ちゅうのが、ちょっと変わってきてるようなわけなんですよ。

だから、以前は減らすほうだったから簡単に減らせたのか、今度ふやすほうになるとふやしていくのか、その辺どうなんですかね。

議長／松尾こども教育部長

松尾こども教育部長／議員さんの御指摘は、定員を増やしたらというようなお考えだということですがけれども、まず定員をふやすに当たりましては、市全体の需要、必要量の見込みと供給、現在の定員の状況を踏まえて県に申請、認可をしなければならないという条件があります。

それと合わせて、子どもの園児一人当たりの床面積、これも確保しなければならないと。

それと併せて、ふやす分の何度も言いますがけれども配置基準に応じた保育士の確保、これが確実に必要になってくるという考えを持っております。

保育士の定数のあり方ですがけれども、この分については全体的な需要と供給、先ほども言いましたように施設の面積要件、保育士の配置条件、それと合わせまして保育者の方の経験年数や専門性などの保育の質の向上、こういったことも合わせて全体的な検討を、総数の決定に際しては全体的に考える必要があるというふうに考えています。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／何せ、まずはその隠れ待機者という人数を把握して、それに対する対策をよろしくお願いします。

以上で、私の一般質問を終わります。

議長／以上で、14番 宮本議員の質問を終了させていただきます。

以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

どうもお疲れ様でした。